

## R 2 営繕 阿南光高等学校 阿南・新野 外構工事 ( 1 )

| 図面目録   |                    |
|--------|--------------------|
| A - 1  | 外構工事特記仕様書 ( 1 )    |
| A - 2  | 外構工事特記仕様書 ( 2 )    |
| A - 3  | 外構工事特記仕様書 ( 3 )    |
| A - 4  | 外構工事特記仕様書 ( 4 )    |
| A - 5  | 外構全体平面図、付近現取図      |
| A - 6  | 現況平面図 ( 1 )        |
| A - 7  | 現況平面図 ( 2 )        |
| A - 8  | 外構平面図 ( 1 )        |
| A - 9  | 外構平面図 ( 2 )        |
| A - 10 | 渡り廊下平面図            |
| A - 11 | 渡り廊下詳細図 ( 1 ) 【参考】 |
| A - 12 | 渡り廊下詳細図 ( 2 ) 【参考】 |
| A - 13 | 外構詳細図              |

| I. 工事概要     |   | 業 項 目         | 特 記 事 項  | 業 項 目  | 特 記 事 項  |
|-------------|---|---------------|--|--|--|
| 1. 工事名称     | R 2 営繕 阿南光高等学校 阿南・新野 外構工事（1）  | 2. 工事関係図書     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・施工に先立ち、実施工程表、工事の総合計画をまとめた総合施工計画書及び工種別施工計画書を作成し、監督員に提出すること。</li> <li>・上記の施工計画書には、「地下埋設物等の近接作業に関する事項」を設けること。</li> <li>・施工図、現寸図、見本等は、監督員の指示により速やかに監督員に提出すること。</li> </ul>  | (3) 撤去物の種類、規模、構造、撤去方法、養生方法、発生材の処分場を記載する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物の種類ごとに下記を指定する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・処分場（無償） <ul style="list-style-type: none"> <li>処分許可業者の会社名、所在地：徳島クレーン（有）（中間処分） 阿南市津乃崎町西分178-1</li> <li>処分地の所在地：阿南市津乃崎町西分178-1,179,180</li> <li>運搬距離：6.9km</li> <li>処理単価(取扱費)：800円/ト</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>   |  |
| 2. 工事場所     | 阿南市新野町室ノ久保  | 3. 安全衛生管理     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事関係図書及び監督員から指示された事項等については、施工に携わる下請員にも十分周知徹底すること。</li> <li>・工事現場における現場代理人、監理技術者、主任技術者の確認のため名札を着用すること。名札には現場代理人、監理技術者、主任技術者の別、氏名、会社名、工事名が記載し、顔写真を添付すること</li> <li>・工事現場の安全衛生管理については、労働安全衛生法等関係法令等に従って行うこと。</li> </ul>  | 上記以外の許可業者の処分場で処分しても差し支えないが、増額変更の対象とはしない。また、この場合、処分単価の見積書の提出を求め、減額変更を行うことがある。 <p>なお、上記の処分場で徳島県優良産業廃棄物処理業者（以下、「優良産業処分業者」という。）に認定されているとき、処分場を変更する場合は原則として優良産業処分業者に変更するとともに、当該施設の事情により優良産業処分業者以外の処分場で処分を行う場合は、理由書を監督員へ提出すること。</p> <p>また、コンクリート・アスファルト塊の搬出については、中間監理施設のみとする。木材については、50mmの範囲内にある木材再資源化施設への搬出を原則とする。</p> <p>(4) 受注者は、建設副産物が搬出される工事にあたっては、建設発生土は建設発生土搬出書、産業廃棄物は産業廃棄物管理票(マニフェスト)により、適正に処理されているか確認するとともに、監督員に建設発生土搬出書(様式3)を提出しなければならない。なお、監督員の指示があった場合は直ちに産業廃棄物管理票の写しを提示しなければならない。</p> |  |
| 3. 敷地面積     |   |               |  |  |  |
| 4. 工種科目     | 解体工事にかかる外構工事一式  |               |  |  |  |
| 5. 工事区分     | 外構工事一式  |               |  |  |  |
| 6. 工期       | 工事完成年月日は令和 年 月 日とする。  |               |  |  |  |
| II. 建築工事仕様書 |   |               |  |  |  |
| 業 項 目       | 特 記 事 項   |               |  |  |  |
| 1 章 一般共通事項  | <p>1. 適用基準等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて建設(国土交通省)次官官庁官庁官庁部監修の下記による。 <ul style="list-style-type: none"> <li>公共建築工事標準仕様書(建築工編)平成31年版(以下「様式」という。)</li> <li>敷地調査共通仕様書(令和元年度年版)</li> <li>建築工事標準詳細図(平成28年版)</li> <li>公共建築工事標準仕様書(電気設備工編)(平成31年版)</li> <li>公共建築工事標準仕様書(機械設備工編)(平成31年版)</li> <li>木造建築工事標準仕様書(平成31年版)</li> </ul> </li> <li>・本工事のうち電気工及び管工について、下請業者を使用する場合は、工事の施工に十分な能力と経験を有したものを選定すること。</li> <li>・設計図書の優先順位は、次の順とする。 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 質問回答書(2)から(5)に対するもの</li> <li>(2) 補正説明書</li> <li>(3) 特記仕様書</li> <li>(4) 図面</li> <li>(5) 公共建築工事標準仕様書 平成31年版 等</li> </ol> </li> <li>・本工事で使用する建設機械は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定(国土交通省告示 平成13年4月8日改訂)」に基づき指定された建設機械を使用するものとする。現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の全業及び型番等、同規程 に基づき指定された建設機械であることが分かる写真を監督員に提出するものとする。ただし、同規程に記載されていない機種、規格の建設機械により施工する場合はこの限りでない。なお、同規程に基づき指定された建設機械を現場に供給するのが著しく困難な場合は、監督員と協議する。ただし、騒音規制法、徳島県公害防止条例等の関係法令を遵守するものとする。</li> <li>・本工事に使用する土工機械は、「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成13.10.8 建設省経機発第249号最終改正 平成14.4.1 国総策第225号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械とする。ただし、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明により評価された排出ガス浄化装置を装着することで排出ガス対策型建設機械と同等とみなすが、これにより異なる場合は、監督員と協議するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の全業及び型番等が分かる写真を監督員に提出するものとする。</li> <li>・本工事で使用する建設機械(労働安全衛生法により特定自主検査が義務づけられている建設機械)は、1年以内毎に1回特定自主検査を実施済みの機械を使用し、その検査証明書(検査記録表)のコピーを使用工程の施工計画書に添付し提出すること。</li> <li>・交通誘導警備員については、警備業務に基づき警備員とし、図示する場所に0日間配置すること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本工事は、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号により規定された交通誘導警備業務を行う場所に一級又は二級の検定合格警備員の配置が(義務付けられていない)。</li> <li>・警備員は、昼6人(昼4人、夜0人)うち検定合格警備員0人を見込んでいる。</li> <li>・警備業法を遵守するとともに、受注者は交通誘導警備員の配置計画書及び合格証明書の写し等資格要件の確認ができる資料を事前に監督員へ提出すること。</li> <li>・配置された検定合格警備員は、業務に従事している間は合格証明書を携帯し、かつ、監督員等の請求があるときは、これを提示すること。</li> </ul> </li> <li>・受注者は、発注者が行う交通誘導警備員勤務実態調査の実施に協力しなければならない。また、対象工事の一部について下請員契約を締結する場合は、当該下請員工事の受注者が当該下請員工事の一部に係る二次以降の下請員を含む。)も同様の義務を負う旨を定めなければならない。</li> <li>・受注者は、「交通誘導警備員勤務実績報告書」を作成し、勤務実績が確認できる資料(勤務実態の写し)とともに、1月毎に監督員へ提出しなければならない。</li> <li>・受注者は、本工事の一部を下請に付する場合には、徳島県内に主たる営業所を有するものの中から優先して選定するように努めなければならない。なお、請負対象額(設計金額)が1億円以上の工事については、徳島県内に主たる営業所を有するもの以外と下請契約する場合は、県内業者を選定しない理由を記した理由書を事前に監督員に提出しなければならない。</li> </ul> |               |  |  |  |
|             |   | 4. 工事現場管理     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・受注者は、工事の施工箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物について工事(仮囲い等仮設材設置を含む)着手までに調査を行い、「支障物確認書」を監督員に提出し、監督員の確認を受けてから工事着手すること。</li> <li>・地下埋設物への影響が予想される場所では、施工に先立ち、原則として試掘を行い、当該埋設物の種類、位置(平面・深さ)、規格、構造等を確認しなければならない。</li> <li>・受注者は、工事箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物に対し、支障を及ぼさないような措置を施さなければならない。万一、損傷を与えた場合は、ただちに監督員に報告するとともに、施設の運営に支障がないよう受注者の負担でその都度補修又は補償すること。</li> <li>・受注者は、重量が100kg以上のものを貨物自動車に積み込む作業(ロープ掛けの作業及びシント掛けの作業を含む。)又は貨物自動車から卸す作業(ロープ解きの作業及びシント外しの作業を含む。)を行うときは、当該作業を指揮する者を定め、監督員に報告しなければならない。</li> <li>・受注者は、機械等を貨物自動車に積み込む作業又は貨物自動車から卸す作業を行う場合は、当該作業を指揮する者を定め、指揮者の合図により行わなければならない。また、作業状況について、写真等の資料を整備及び保管し、監督員の請求があったときは、直ちに提示しなければならない。</li> <li>・受注者は、輸送経路等において上空施設への接触事故を防止するため、重機回送時の高さ、移動式クレーンのブームの格納、ダンプトラックの乗台の下等し等について、走行前に複数の数値により確認しなければならない。</li> <li>・受注者は、移動式クレーンを使用する場合は、上空施設への接触事故防止装置(ブームの格納忘れを防止(警告)する装置、ブームの高さを制限する装置等)付きの車両を原則使用しなければならない。なお、令和2年度末までは、経過措置期間とするが、この期間においても接触事故防止機能付きの車両を使用するよう努めるものとする。</li> <li>・休日、夜間に作業を行う時は、事前に「休日・夜間作業届」を監督員に提出すること。</li> <li>・受注者は、工事用車両による土砂、工事用資材、機械等の輸送を伴う場合は、関係機関と打合せを行い、交通安全に関する担当、輸送経路、輸送期間、輸送方法、輸送担当業者、交通誘導員の配置、標識、安全施設等の設置場所その他安全輸送上の事項について計画を立て、災害の防止を図らなければならない。特に、輸送経路にある既設建築物に対して損傷を与えるおそれがある場合は、当該物件およびその位置と必要な措置について工事着手前に監督員に報告しなければならない。</li> <li>・受注者は、工事期間中安全監視を行い、工事区域及びその周辺の監視あるいは連絡を行い安全を確保するとともに工事現場における避難防止の観点から、資機材の保管状況等についても併せて確認するものとする。また、監督員から「資機材保管計画書(自由様式)」の提出を求められた場合には、速やかに提出すること。</li> <li>・工事現場には、工事機を監督員の指示に従って見やすい場所に設けること。</li> <li>・受注者は、本工事において使用する工事看板・バリケード等については、県産木材を用いた木製品を優先して使用するよう努めなければならない。県産木材を使用した場合、受注者は、工事完了後「木材使用実績報告書」(電子データ)を監督員へ提出しなければならない。</li> <li>・電気保安技術者は次の者とし、必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料により、監督員の承諾を受けること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者又はこれと同等の知識及び経験を有する者とする。</li> <li>・一般用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第1種又は第2種電気工事士の資格を有する者とする。</li> </ul> </li> <li>・発生材の処理等は、次に通り正確に行う。 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 工事に伴う発生材のうち、文化財保護法に基づく物及び有価物と判断される物については、報告及び引当しを要する。</li> <li>(2) 上記以外の発生材は、建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律、資材の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適正処理推進要綱その他関係法令等に従い処理すること。受注者は、工事で発生する産業廃棄物を保管する場合、または自ら運搬する場合等においては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の規定を遵守すること。図面に表示のないものについては、監督員(契約書に規定する監督員をいい、様式の規定による場合は監督職員と読み替える。以下同じ。)に報告し指示を受ける監督員を仰ぐこと。</li> </ol> </li> </ul> | 5. 材料・製品等  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS又はJISマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の(1)から(3)の事項を満たすものとする。 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。</li> <li>(2) 法令等での定める許容、認定又は免許を取得していること。</li> <li>(3) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。</li> </ol> <p>なお、「評価名簿による」と記載されているものは、国土交通省大臣官庁官庁官庁部監修「建築材料等評価名簿(最新版)」に記載するものとする。</p> </li> <li>・受注者は、本工事で使用する建築材料・製品等(以下「建材等」という)の発注の際は、発注者に、「生コンクリート使用承諾書」、「材料使用承諾書」、「木材使用承諾書」を監督員へ提出しなければならない。</li> <li>・受注者は、工事完了後、請負金額が500万円以上の工事において、「木材使用実績報告書」(電子データ)、「建設資材使用実績報告書」(電子データ)を監督員に提出しなければならない。</li> <li>・県産木材の使用 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 受注者は、工事的目的物及び指定仮設で木材を使用する場合並びにコンクリート打設型枠を使用する場合、原則として県産材を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合にはこの限りでない。</li> <li>(2) 「県産材」とは、「徳島県内の森林で育成した木材」のことであり、「徳島県内の森林で育成した木材」とは次のことである。 <ul style="list-style-type: none"> <li>徳島県木材認証制度により、県内産であることが「産地認証」された木材</li> <li>以外において、徳島県内の森林で育成したことが確認された木材</li> </ul> </li> <li>(3) 受注者は、請負金額が500万円以上の工事については、県産木材以外の木材を使用する場合は、県産材を使用できない理由を記載した書面及び確認資料を事前に監督員に提出し、承諾を得なければならない。</li> <li>(4) 受注者は、県産材を使用する前に、徳島県木材認証機関から発行される「産地認証」証明書の写しにより県産材であることを示す書類を監督員へ提出しなければならない。</li> <li>(5) 県内の森林から直接調達するなど、前項より難い場合は木材調達先の産地及び相手の氏名等を記入した書類を監督員へ提出しなければならない。</li> </ol> </li> </ul> |
| 工事名         | R 2 営繕 阿南光高等学校 阿南・新野 外構工事（1）  | 株式会社 橘 建築 事務所 | <ul style="list-style-type: none"> <li>一級建築士登録 第108457号 浜岡幸幸</li> <li>〒770-0868 徳島市福島 2 丁目 5 番 9 号 (株)橘建築事務所</li> <li>一級建築士事務所 登録番号 徳島県知事 登録第81015号 電話(088)625-7878</li> </ul>   | -  | A - 1  |
|             |   | 外構工事特記仕様書（1）  |  |  |  |

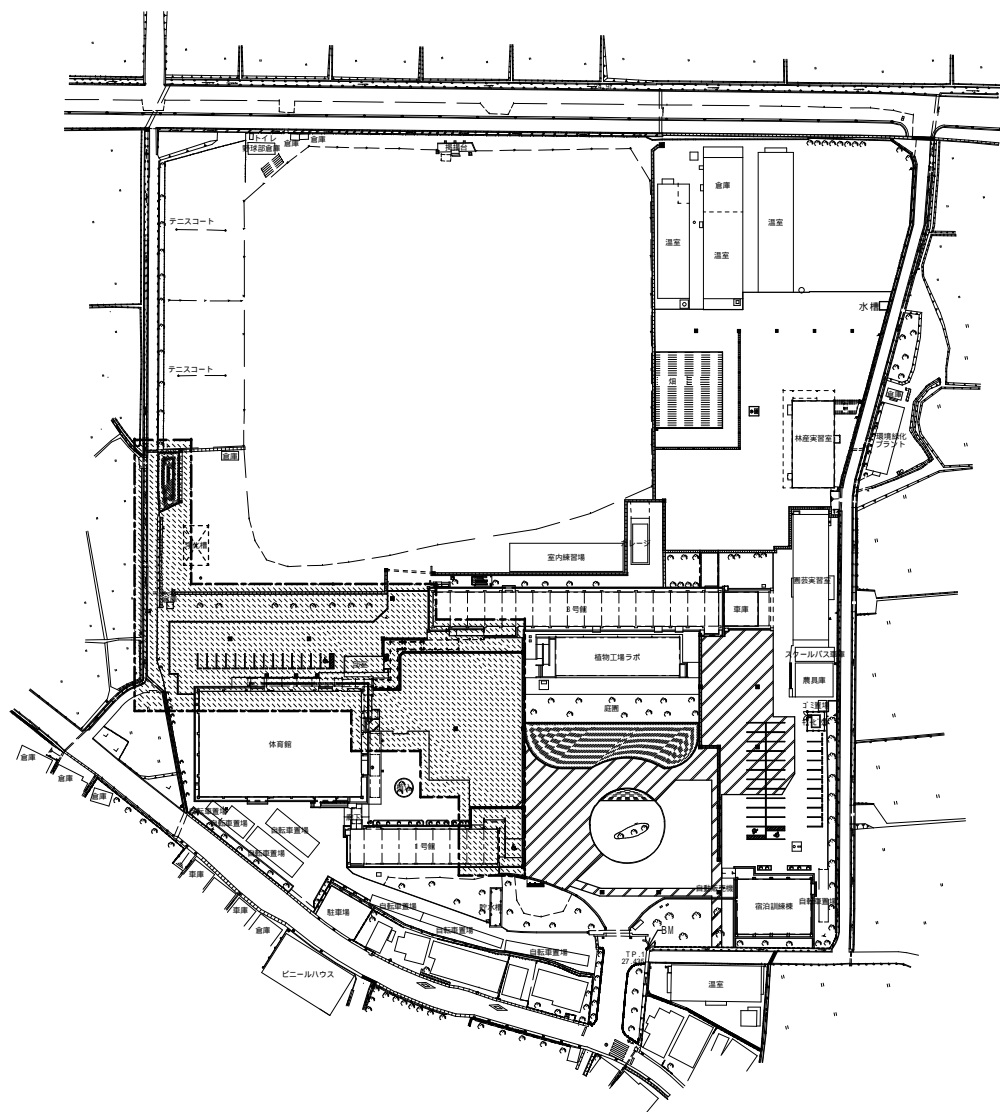
| 項目               | 特記事項  | 項目  | 特記事項   | 項目     | 特記事項   |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
|------------------|---|---|--|--------|--------|----|----|-------|----|------|----------|--------|------------|---------------|----|------|---------|----|----|----------|----|------|---------------|------------------|------------------|-----------------|------------------|--------------|--------------|--------------------|---------------------|-----------|----------|---------|----------|----------|----------|-------|-------------|-------------|-------------|----------|---------|------------------|-----------------|-----------|-------------|-----------|--------------|-------|-------|---------|---------|-------------|---------|--------|-------|--------|---|----|--------------|---|----|-------------|----|----|-------|----|----|--|
| 1章 一般共通事項        | <p>・製材等(製材、集成材、合板、単板積層材)、フローリング、再生木製ボード(パーテクルボード、繊維板、木質系メルト板)については、合法性に係る確認(「産地認証」及び「品質認証」を含む。)が行われたものを使用する。ただし、機能上、需給上など正当な理由により確保が困難であり、使用できない場合には監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。</p> <p>また、それらの木質又は紙の原料となる原木についての合法性に係る確認は、林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン(平成18年2月15日)」に準拠して行うものとし、監督員に合法性証明書を提出するものとする。ただし、平成18年4月1日より前に伐採業者が加工・流通業者等と契約を締結している原木に係る合法性の確認については、平成18年4月1日の時点で原料・製品等を保管している者が証明書に平成18年4月1日より前に契約を締結していることを記載した場合には、上記ガイドラインに定める合法性木材であることの証明は不要とする。</p> <p>・公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の仕様・工法は、監督員の承諾を受けて、当該製品の仕様及び指定工法による。</p> <p>・県内産資材の使用<br/>           (1) 受注者は、木材以外の建設資材を使用する工事を施工する場合、原則として県内産資材を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合はこの限りでない。なお、WTO対象工事については、県内産資材を優先して使用しよう努めるものとする。<br/>           (2) 受注者は、請負金額が500万円以上の工事において、県内産資材以外の資材を使用する場合は、県内産資材を使用できない理由を記載した書面及び確認資料を事前に監督員に提出し、承諾を得なければならない。<br/>           (3) 受注者は、工事完了後、請負金額が500万円以上の工事において、「建設資材使用実績報告書」を監督員に提出しなければならない。</p> <p>県内産資材(次のいずれかに該当するもの)<br/>           材料の主な部分を県内産出の原材料を使用している製品<br/>           徳島県内の工場で加工、製造された製品<br/>           注1: 部材、部品が県外製品であっても、県内の工場で加工、製造した製品(二次製品)であれば県内産資材として取り扱う。<br/>           注2: 県内企業が県外に立地した工場(自社工場)で加工、製造した製品も県内産資材として取り扱う。<br/>           注3: 公共建築工事標準仕様書そのた関連する示方書の基準を満たす資材、製品であること。</p> <p>・県内産再生砕石の原則使用<br/>           受注者は、再生砕石を使用する場合、県内の再資源化施設(廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第15条第1項に基づく許可を有する施設(同法第15条の2第5第1項に基づく変更の許可において同じ。))で製造された再生砕石を原則として使用しなければならない。</p> <p>・受注者は、徳島県内に主たる営業所を有する者から調達した建材等(県内企業調達建材等)を優先して使用しよう努めなければならない。なお、県内企業調達建材等以外を使用する場合は、県内企業調達建材等を使用しない理由を記載した理由書を監督員に提出しなければならない。</p> <p>・本工事に使用する建築材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。<br/>           (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集積材、単板積層材、WDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ウリア樹脂板及び仕上り塗材は、ホルムアルデヒドを発生しないが、発散が極めて少ないものとする。<br/>           (2) 保温材、断熱材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びキシレンを発生しないが、発散が極めて少ないものとする。<br/>           (3) 接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないが、発散が極めて少ないものとする。<br/>           (4) 塗料は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないが、発散が極めて少ないものとする。<br/>           (5) (1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないが、発散が極めて少ないものとする。</p> <p>7. 施工<br/>           ・工事現場監督員は常駐できないので、疑問点、その他打合せを要する事項は、監督員の出向いた時、又は電話連絡へ問い合わせ、工事に連携のないようにすること。<br/>           ・施工にあつては、設計図書に従って忠実に施工すること。不都合な工法等を見出した場合は、工事が進行済みであっても根本的な手直しを命ずるので、注意して施工すること。手直し工事は、受注者の責任において実施し、それに要する費用は受注者の負担とする。</p> | <p>8. 技能士の適用</p> <p>・技能士の適用については、次の技能検定作業(以下、「作業」という。)のうち各工事に適用する作業を指定するものとする。</p> <p>技能士は、職業能力開発促進法による一級技能士又は二級技能士の資格を有する者とし、資格を証明する資料を監督員に提出すること。</p> <p>技能士は、適用する工事で、1名以上の者が自ら作業をするとともに、他の技能者に對して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。技能士は、氏名、検定職種、技能士番号等を県が指定した内容を記載した名札等により、資格を明示するものとする。</p> <p>なお、指定のない作業についてもその活用を図るよう努めることとする。</p> <p>印・・・適用作業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事項目</th> <th>技能検定職種</th> <th>技能検定作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設</td> <td>とび</td> <td>・とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋</td> <td>鉄筋施工</td> <td>・鉄筋組立て作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td>コンクリート圧送施工</td> <td>・コンクリート圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>型枠</td> <td>型枠施工</td> <td>・型枠工事作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨</td> <td>鉄工</td> <td>・構造物鉄工作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">防水</td> <td rowspan="12">防水施工</td> <td>・アスファルト防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・ウレタンゴム系遮断防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・アクリルゴム系遮断防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・合成ゴム系シート防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・塩化ビニル系シート防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・セメント系防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・シーリング防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・改質のめかたシート工法防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・改質のめかた常温粘着工法防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・PP防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>・タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>・木工工事作業</td> </tr> <tr> <td>・内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>・からり塗装作業</td> </tr> <tr> <td>・内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>・左官作業</td> </tr> <tr> <td>・木製床仕上げ工事作業</td> </tr> <tr> <td>・木製建具機械加工作業</td> </tr> <tr> <td>・ビル用サッシ施工作業</td> </tr> <tr> <td>・ガラス施工作業</td> </tr> <tr> <td>・建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>・プラスチック系床仕上げ工事作業</td> </tr> <tr> <td>・カーペット系床仕上げ工事作業</td> </tr> <tr> <td>・鋼製地下工事作業</td> </tr> <tr> <td>・ボード仕上げ工事作業</td> </tr> <tr> <td>・カーテン工事作業</td> </tr> <tr> <td>・木製系床仕上げ工事作業</td> </tr> <tr> <td>・表具作業</td> </tr> <tr> <td>・壁紙作業</td> </tr> <tr> <td>・建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>・造園工事作業</td> </tr> <tr> <td>・冷凍空調機器施工作業</td> </tr> </tbody> </table> <p>9. 工事検査及び技術検査</p> <p>・設計図書(各施工計画書を含む)に定められた工程が完了した時、報告書を提出し、監督員の検査等を受け、承諾を受けて次の工程に進むこと。</p> <p>・試験等によらなければ、確認できない工事(製品)については、試験等計画書(施工計画書に記載)を提出し、監督員の承諾を受け試験を行い、その結果を報告し承諾を得ること。</p> <p>・次表により中間検査の対象工事となった場合は、原則として次表の実施回数以上の中間検査を実施するものとする。ただし、工事検査員が認める場合は、一般入札工事に限り、これによらないことができる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>当初請負対象額</th> <th>一般入札工事</th> <th>低入札工事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3千万円未満</td> <td>-</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>3千万円以上5千万円未満</td> <td>-</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>5千万円以上1億円未満</td> <td>1回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>1億円以上</td> <td>2回</td> <td>3回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 低入札工事は、低入札価格調査工事の調査基準価格を下回って落札した工事をいう。<br/>           一般入札工事は、低入札工事以外の工事をいう。</p> <p>・中間検査の実施時期は、当該工事の工程を考慮し施工上の重要な時点で行うものとし、契約締結後速やかに監督員と協議すること。</p> <p>・中間検査が部分払検査と同期になる場合は、中間検査を省略することができる。</p> <p>・基礎杭工事を含む工事については、請負対象額にかかわらず、基礎杭工完了後、中間検査を実施する。</p> <p>10. 完成図書</p> <p>・電子納品: 対象</p> <p>・提出書類<br/>           ・竣工図(製本3部、電子データ2部)(M4・M3 (A2)、原因版)<br/>           ・工事写真(写真帳1部(電子前、竣工)、電子データ2部)<br/>           ・使用材料一覧表(4部(うち3部は竣工図表紙裏面に貼付)、電子データ2部)<br/>           ・保全に関する資料</p> <p>・竣工図は関係図面(データ写真)を修正して作成すること。<br/>           竣工図データは、関係図面(データ写真)を修正して作成し、PDF形式、SFC形式及びオリジナル形式をCD-Rに保存する。</p> | 工事項目   | 技能検定職種 | 技能検定作業 | 仮設 | とび | ・とび作業 | 鉄筋 | 鉄筋施工 | ・鉄筋組立て作業 | コンクリート | コンクリート圧送施工 | ・コンクリート圧送工事作業 | 型枠 | 型枠施工 | ・型枠工事作業 | 鉄骨 | 鉄工 | ・構造物鉄工作業 | 防水 | 防水施工 | ・アスファルト防水工事作業 | ・ウレタンゴム系遮断防水工事作業 | ・アクリルゴム系遮断防水工事作業 | ・合成ゴム系シート防水工事作業 | ・塩化ビニル系シート防水工事作業 | ・セメント系防水工事作業 | ・シーリング防水工事作業 | ・改質のめかたシート工法防水工事作業 | ・改質のめかた常温粘着工法防水工事作業 | ・PP防水工事作業 | ・タイル張り作業 | ・木工工事作業 | ・内外装板金作業 | ・からり塗装作業 | ・内外装板金作業 | ・左官作業 | ・木製床仕上げ工事作業 | ・木製建具機械加工作業 | ・ビル用サッシ施工作業 | ・ガラス施工作業 | ・建築塗装作業 | ・プラスチック系床仕上げ工事作業 | ・カーペット系床仕上げ工事作業 | ・鋼製地下工事作業 | ・ボード仕上げ工事作業 | ・カーテン工事作業 | ・木製系床仕上げ工事作業 | ・表具作業 | ・壁紙作業 | ・建築配管作業 | ・造園工事作業 | ・冷凍空調機器施工作業 | 当初請負対象額 | 一般入札工事 | 低入札工事 | 3千万円未満 | - | 1回 | 3千万円以上5千万円未満 | - | 2回 | 5千万円以上1億円未満 | 1回 | 2回 | 1億円以上 | 2回 | 3回 | <p>11. 火災保険</p> <p>・受注者は、建築工事を施工する場合、原則として「徳島県電子納品運用ガイドライン【建築工場編】」に基づいて調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品(以下「電子納品」という。)すること。</p> <p>・対象物<br/>           工事的目的物及び検査済材(支給材料を含む)について付保すること。</p> <p>・付保外工事<br/>           次に掲げる単独工事については、付保を除外できる。<br/>           (1) 杭及び基礎工事<br/>           (2) コンクリート躯体工事<br/>           (3) 屋外付帯工事<br/>           (4) その他受注を判断の上、必要がないと認められた場合(外壁補修工事等)</p> <p>・付保する時期及び金額<br/>           鉄筋コンクリート造の場合は躯体工完了時に、木造及び鉄骨造の場合は基礎工完了時に、請負金額相当額を付保する。<br/>           また、模様替え工事等については、工事着手時に請負金額相当額を付保する。</p> <p>・保険期間<br/>           工事完成期日に14日を加えた期日とする。<br/>           なお、工期延伸した場合には、保険の期間も延長すること。</p> <p>・その他<br/>           (1) 建設工事保険に付保した場合は、火災保険に付保したもののみならず。<br/>           (2) 付保する時期以降に出来高払いを行う場合は、受注者は保険契約の証券の写しを出来高払いの書類に添付すること。</p> <p>12. デジタル工事写真の<br/>           小黒板情報電子化</p> <p>・受注者は、デジタル工事写真の小黒板情報電子化の実施を希望する場合は、監督員の承諾を得たうえで、デジタル工事写真の小黒板情報電子化対象工事(以下、「対象工事」という)とすることができる。</p> <p>・対象工事は、徳島県ALS/ECホームページ掲載の「デジタル工事写真の小黒板情報電子化の運用について(県土整備部)」に記載されたすべての内容を適用することとする。</p> |
| 工事項目             | 技能検定職種  | 技能検定作業  |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| 仮設               | とび  | ・とび作業   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| 鉄筋               | 鉄筋施工  | ・鉄筋組立て作業  |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| コンクリート           | コンクリート圧送施工  | ・コンクリート圧送工事作業   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| 型枠               | 型枠施工  | ・型枠工事作業   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| 鉄骨               | 鉄工  | ・構造物鉄工作業  |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| 防水               | 防水施工  | ・アスファルト防水工事作業   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
|                  |   | ・ウレタンゴム系遮断防水工事作業  |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
|                  |   | ・アクリルゴム系遮断防水工事作業  |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
|                  |   | ・合成ゴム系シート防水工事作業   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
|                  |   | ・塩化ビニル系シート防水工事作業  |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
|                  |   | ・セメント系防水工事作業  |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
|                  |   | ・シーリング防水工事作業  |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
|                  |   | ・改質のめかたシート工法防水工事作業  |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
|                  |   | ・改質のめかた常温粘着工法防水工事作業   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
|                  |   | ・PP防水工事作業   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
|                  |   | ・タイル張り作業  |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
|                  |   | ・木工工事作業   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| ・内外装板金作業         |   |   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| ・からり塗装作業         |   |   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| ・内外装板金作業         |   |   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| ・左官作業            |   |   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| ・木製床仕上げ工事作業      |   |   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| ・木製建具機械加工作業      |   |   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| ・ビル用サッシ施工作業      |   |   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| ・ガラス施工作業         |   |   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| ・建築塗装作業          |   |   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| ・プラスチック系床仕上げ工事作業 |   |   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| ・カーペット系床仕上げ工事作業  |   |   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| ・鋼製地下工事作業        |   |   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| ・ボード仕上げ工事作業      |   |   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| ・カーテン工事作業        |   |   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| ・木製系床仕上げ工事作業     |   |   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| ・表具作業            |   |   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| ・壁紙作業            |   |   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| ・建築配管作業          |   |   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| ・造園工事作業          |   |   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| ・冷凍空調機器施工作業      |   |   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| 当初請負対象額          | 一般入札工事  | 低入札工事   |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| 3千万円未満           | -   | 1回  |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| 3千万円以上5千万円未満     | -   | 2回  |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| 5千万円以上1億円未満      | 1回  | 2回  |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| 1億円以上            | 2回  | 3回  |  |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
| 工事名              | R 2 宮織 阿南光高等学校 阿南・新野<br>外構工事(1)   | 株式会社<br>橘 建築 事務所  | 一級建築士登録 第108457号 浜岡孝幸<br>〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 (株)橘建築事務所<br>一級建築士事務所 登録番号 徳島県知事 登録第81015号 電話(088)625-7878 | -      | A - 2  |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |
|                  |   |   | 外構工事特記仕様書(2)   |        |        |    |    |       |    |      |          |        |            |               |    |      |         |    |    |          |    |      |               |                  |                  |                 |                  |              |              |                    |                     |           |          |         |          |          |          |       |             |             |             |          |         |                  |                 |           |             |           |              |       |       |         |         |             |         |        |       |        |   |    |              |   |    |             |    |    |       |    |    |  |

| 監 査 項 目                                       | 特 記 事 項   | 監 査 項 目                 | 特 記 事 項  | 監 査 項 目               | 特 記 事 項   |   |             |        |        |      |                      |   |   |            |            |                         |      |               |  |      |       |       |       |            |             |        |        |   |                      |   |   |            |            |                         |  |
|---|---|-------------------------|--|-----------------------|---|---|-------------|--------|--------|------|----------------------|---|---|------------|------------|-------------------------|------|---------------|--|------|-------|-------|-------|------------|-------------|--------|--------|---|----------------------|---|---|------------|------------|-------------------------|--|
| 2 監 査<br>仮設工事                                 | <p>1. 敷地の状況確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・着工に先立ち、敷地境界、既存構造物、敷地の高低差、地下埋設物の確認、近隣建築物及び工作物の現状確認、排水管路及び配水管の流末処理の確認並びに敷地周辺の状況確認を行うこと。</li> </ul> <p>2. ベンチマ - ク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計GLの設定は、BM( 図示 ) を±0とし、NGLはBM±( ) 0mmとする。ただし、監督員の指示により決定する。</li> </ul> <p>3. 足場等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設脚材及び経年仮設脚材の使用については、次の規格又は認定基準(以下「規格等」という。)に適合するものを使用すること。<br/>労働安全衛生法に基づく構造規格<br/>(社)仮設工業会の認定基準<br/>また、厚生労働省の「経年仮設脚材の管理指針」の基づく(社)仮設工業会の「通用工場制度」による登録工場及び指定工場等の活用に努めるとともに、前記規格等に定めるもの以外の使用に当たってはあらかじめ強度等を確認した書類を監督員に提出し、承認を受けること。</li> <li>・労働安全衛生法第88条に基づき、労働安全衛生規則第7に掲げる機械等(組立から解体までの期間が60日未満を除く)の設置や移転、変更を行う場合は、30日前までに所轄労働基準監督署長に届け出をおこなうこと。<br/>届け出をおこなった場合は、監督員に報告すること。<br/>届け出不要の場合は、その旨監督員に報告すること。</li> <li>・労働安全衛生法第88条に基づく届け出の要否に問わず、足場を設置する場合は、使用開始前に管轄課指定の足場チェックリストを用いて点検した後、監督員の確認を受けること。</li> <li>・受注者は、高さ≥2m以上の所で作業を行う場合は、墜落防止に留意し、作業日毎に「墜落防止チェックシート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。</li> <li>・外部足場(種類: 枠組本足場、仕様: 1枚布、D= 60cm、シ - ト仕様: - )<br/>・壁つなぎ間隔(水平方向: m以下、鉛直方向: m以下)<br/>・足場を設置する場合は、原則として「手すり先行工法に関するガイドライン」(2.2.4)の別紙1「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」の2の(2) <b>手すり設置方式</b> により行うこと。<br/>ただし監督員の承認を得た場合は、(3)手すり先行専用足場方式により行うことができる。</li> <li>・内部足場(種類: -、仕様: 枚布、D= cm)<br/>・壁つなぎ間隔(水平方向: m以下、鉛直方向: m以下)</li> <li>・仮囲いを設置する場合は、設置後に「管轄課発注現場安全再確認シート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。</li> <li>・仮囲い(仕様: 2x1/2x1' 紗ド、H= 1.8 m、L= 145.8 m)(図示)</li> <li>・ゲ - ト(有) 無、仕様: 2x2/2x2 - H15.0m x H1.8m)</li> <li>・作業区画(仕様: 2x2x2 + 2x1/2x1'、L= 96 m)(図示)</li> <li>・足場等の設置業者は、別契約の関係受注者に無償で使用させると、また安全管理も実施すること。</li> <li>・受注者は、つり足場(ゴンドラのつり足場を除く。)、張出し足場又は高さが5メートル以上の構造の足場の組立て、解体又は変更の作業において、材料、器具、工具を上げ、又はおろすときは、つり綱、つり袋等を労働者に使用させなければならない。また、作業主任者を選任し、その氏名、職務を掲示すること。</li> </ul> <p>4. 監督員事務所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・監督員事務所は( 設ける (面積 n°程度) <b>設けない</b> )</li> </ul> <p>5. 工事用水、電力等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存電力利用( 出来る <b>出来ない</b> )、電力料金( <b>有償</b> ) 無償 )<br/>ただし、施設管理者と協議すること。</li> <li>・既存水利用( 出来る <b>出来ない</b> )、用水料金( <b>有償</b> ) 無償 )<br/>ただし、施設管理者と協議すること。</li> </ul> <p>6. 工事車両用駐車場<br/>資材置場<br/>現場事務所用地等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同用地は、施設管理者と協議すること。</li> </ul> <p>7. 仮設トイレの洋式化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受注者は当初請負対象金額(設計金額)1千万円以上7千万円未満の工事において、仮設トイレを設置する場合、原則として「洋式トイレ」を設置しなければならない。また、現場従事者に女性が含まれる場合は、原則として「女性専用トイレ(快適トイレ)」を設置しなければならない。標準とする。ただし、特段の理由がある場合は、この限りでない。</li> <li>・受注者は、仮設トイレを設置した場合、「仮設トイレ設置報告書」を監督員に提出しなければならない。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>洋式トイレとは、和式トイレの便座部分を洋式化したトイレのこと。<br/>快適トイレとは、洋式トイレのうち、防臭対策・施設の強化などが実施された、女性が利用しやすい仮設トイレのこと。</p> </div> | 3 監 査<br>土工事            | <p>1. 根切り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺の状況、土質、地下水の状態等に適合した工法を採用し、工事中の異常沈下、法面の滑動、その他による災害が発生しないよう、災害防止に必要な処置をとること。</li> <li>・敷地内に埋設が予想される設備配管等について十分調査し、支障がないようにすること。</li> <li>・根切り底は、地盤をかく乱しないよう、手作業(深さ30cm程度)とするが、バケットに特殊アタッチメントを取りつけた機械掘りとする。なお、かく乱した場合は、自然地盤と同等以上の強度となるように適切な処置を定め、監督職員の承認を受ける。</li> </ul> <p>2. 排水</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事に支障を及ぼす雨水、わき水等は、適正な排水溝、集水ます等を設置し、支障がないようにすること。</li> </ul> <p>3. 埋め戻し及び強土</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用土は(A種 <b>B種</b> <b>C種</b> D種)とし、機器により締め固める。</li> <li>・本工事は、次に掲げる工事からの建設発生土を使用するものとする。<br/>なお、高質等により使用が困難な場合は、監督員と協議すること。<br/>利用目的: 盛土(埋め戻し)<br/>工 事 名: R1 宮城 阿南光高等学校 阿南・新野 農業操等解体工事<br/>: R1 宮城 阿南光高等学校 阿南・新野 林産実習室耐震改修工事建築<br/>: R1 宮城 阿南光高等学校 阿南・新野 武道場等解体工事<br/>場 所: 校内仮置場</li> <li>・建設発生土を搬入する場合には、土壌検査結果を添付するものとし、「徳島県生活環境保全条例」の土壌基準に適合しないものについては、搬入することができない。<br/>ただし、次の場合は検査結果の添付の必要はない。<br/>(1) 公共工事利用の場合で、監督員相互で同意がとれた場合<br/>(2) 購入土(切込砕石、砂、真砂土等)である場合</li> <li>・余盛りは、土質に応じ監督員と協議の上、余盛り高さを決定すること。</li> </ul> <p>4. 地均し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・六価クロム溶出試験を( 行っ ・ 行わない )。<br/>行った場合、土壌環境基準以下であることを確認すると共に、試験結果(計量証明書)を監督員に提出するものとする。<br/>六価クロム溶出試験は、「セメント及びセメント系固化工材の地盤改良への使用及び改良土の再利用に関する当面の措置」(平成12年3月31日 建設第258号)の「六価クロム溶出試験実施要領(案)」により実施する。土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合、試験の結果、六価クロムの溶出量が土壌環境基準を超えた場合等は、監督員と協議するものとする。</li> <li>・建物の周囲、幅2m程度を、水はけよく地均しを行う。</li> <li>・地均しは、均しを行う地表面の不陸を修正し、草木の除去及び清掃をして、一様にかき均した後、仕上げ面を一樣になじみ起こしをして、良質土をまきかけ、歩行に耐えうる程度に締め固める。</li> </ul> <p>5. 建設発生土の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場内敷き均し及び場外搬出適正処分とする。</li> <li>・民間の残土処分場等へ搬出する場合は「徳島県生活環境保全条例」によることとし、建設発生土の発生場所ごとに、かつ4,000立方メートルまでごとに1回採取して、土壌検査を行うこととする。その他、「特定事業の許可に係る土壌検査及び水質検査の実施における留意点」による。<br/>ただし、建設発生土の公共工事間の利用を行う場合で、担当者相互の同意が取れた場合には、分析の必要はない。</li> <li>・土壌検査を行った結果、条例の基準に適合しない場合には、監督員と協議すること。</li> </ul> <p>6. 建設発生汚泥の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発生した場合、現場内再生利用もしくは場外搬出とする。</li> <li>・発生汚泥を再生利用する場合には、「建設汚泥の再生利用に関するガイドライン」に準拠し、その内容を明記した施工計画書を監督員に提出し、承認を受けた後に施工すること。また、施工計画書の承認を受ける際には、関係団体との協議に協力すること。</li> <li>・舗装被切面に伴い発生する排水は汚泥に該当するため、関係法令等に基づき適正に処理すること。</li> </ul> | 4 監 査<br>地盤工事         | <p>1. 一般事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排水、排土等は産業廃棄物に該当するため、関係法令に基づき適正に処理すること。</li> </ul> <p>2. 砂利・砂・割り石及び捨コンクリート地業等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料は、市場品とする。</li> <li>・砂利及び砂地業<br/>・厚さが300mmを超える場合は、300mmごとに断面図を行う<br/>・砂利は、( 切込砕石 ・ <b>再生クラッシュ</b> )とする。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>使用部位</th> <th>厚 さ</th> <th>粒度範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切込砂利</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>切込砕石</td> <td>図示</td> <td>図示</td> <td>C-40</td> </tr> <tr> <td>再生クラッシュ</td> <td>図示</td> <td>図示</td> <td>RC-40</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・締固めは、ランマ-3回突き、振動コンパクト-2回締め又は振動ローラー締めとする。締固めによる凹凸は目つぶし砂利で上均しをする。</li> <li>・締め固め機械の選定に当たっては、地質の状況を検討し監督員の承認を得ること。</li> <li>・捨コンクリートは、無筋コンクリート(スランプ15cm、設計基準強度18N/mm<sup>2</sup>)とし、厚さは 図示 mm とする。</li> </ul> <p>3. 地盤改良</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・六価クロム溶出試験を( 行っ ・ 行わない )。<br/>行った場合、土壌環境基準以下であることを確認すると共に、試験結果(計量証明書)を監督員に提出するものとする。<br/>六価クロム溶出試験は、「セメント及びセメント系固化工材の地盤改良への使用及び改良土の再利用に関する当面の措置」(平成12年3月31日 建設第258号)の「六価クロム溶出試験実施要領(案)」により実施する。土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合、試験の結果、六価クロムの溶出量が土壌環境基準を超えた場合等は、監督員と協議するものとする。</li> </ul> | 種 別   | 使用部位        | 厚 さ    | 粒度範囲   | 切込砂利 |                      |   |   | 切込砕石       | 図示         | 図示                      | C-40 | 再生クラッシュ       | 図示   | 図示   | RC-40 |       |       |            |             |        |        |   |                      |   |   |            |            |                         |  |
| 種 別   | 使用部位  | 厚 さ                     | 粒度範囲   |                       |   |   |             |        |        |      |                      |   |   |            |            |                         |      |               |  |      |       |       |       |            |             |        |        |   |                      |   |   |            |            |                         |  |
| 切込砂利  |   |                         |  |                       |   |   |             |        |        |      |                      |   |   |            |            |                         |      |               |  |      |       |       |       |            |             |        |        |   |                      |   |   |            |            |                         |  |
| 切込砕石  | 図示  | 図示                      | C-40   |                       |   |   |             |        |        |      |                      |   |   |            |            |                         |      |               |  |      |       |       |       |            |             |        |        |   |                      |   |   |            |            |                         |  |
| 再生クラッシュ                                       | 図示  | 図示                      | RC-40  |                       |   |   |             |        |        |      |                      |   |   |            |            |                         |      |               |  |      |       |       |       |            |             |        |        |   |                      |   |   |            |            |                         |  |
| 監 査 項 目                                       | 特 記 事 項   | 監 査 項 目                 | 特 記 事 項  |                       |   |   |             |        |        |      |                      |   |   |            |            |                         |      |               |  |      |       |       |       |            |             |        |        |   |                      |   |   |            |            |                         |  |
| 5 監 査<br>鉄筋工事                                 | <p>1. 材料</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>規格番号</th> <th>規格名称</th> <th>種類の記号</th> <th>径(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JIS G 3112</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼</td> <td>SD295A</td> <td>D10,13</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>建築基準法の規定に基づき認定を受けた鉄筋</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3551</td> <td>溶接鋼筋及び鉄筋格子</td> <td>網目の形状: 寸法: 150x150 径: 6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 材料試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料試験は行わない。<br/>ただし、規格証明書を提出し、監督員の承認を得ること。</li> </ul> <p>3. 鉄筋の継手及び定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄筋の継手は( <b>重ね継手</b> )、ガス圧接継手 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 )とする。</li> <li>・鉄筋の継手の位置は図示による。</li> <li>・結束線の端部は内側に折り曲げる。</li> <li>・鉄筋の90°未満の折曲げの内法直径は図示による。</li> <li>・鉄筋の定着方法及び長さは図示による。</li> </ul> <p>4. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、構造物5.3.6の数値に10mmを加えた数値を標準とする。</li> <li>・目地がある場合のかぶり厚は、目地底からの寸法とする。</li> <li>・各部の配筋は、図示による。図示されていない場合は、構造物参考図〔1部・基礎及び基礎梁の配筋〕～〔7部・梁貫通孔その他配筋〕による。</li> </ul> <p>5. 配筋検査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要な配筋は、コンクリート打込み前先立ち、種類、径、数量、かぶり、間隔、位置等について、監督職員の検査を受ける。</li> </ul> <p>6. あと施工アンカー工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あと施工アンカー作業における技能者は、あと施工アンカー工事の施工に関する十分な経験と技能を有するものとし、これらを証明する資料を提出し、監督員の承認を受けること。</li> <li>・埋込み配管等に当たった場合は、直ちに穿孔を中止し、監督員に報告し指示を受けること。</li> <li>・鉄筋等に当たった場合は、穿孔を中止し、付近の位置に再穿孔を行うこと。中止した孔は、モルタルで充てんすること。</li> <li>・施工確認試験を( 行っ ・ 行わない )。</li> </ul>  | 規格番号                    | 規格名称   | 種類の記号                 | 径(mm)   | JIS G 3112                                    | 鉄筋コンクリート用棒鋼 | SD295A | D10,13 | -    | 建築基準法の規定に基づき認定を受けた鉄筋 | - | - | JIS G 3551 | 溶接鋼筋及び鉄筋格子 | 網目の形状: 寸法: 150x150 径: 6 |      | 5 監 査<br>鉄筋工事 | <p>1. 材料</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>規格番号</th> <th>規格名称</th> <th>種類の記号</th> <th>径(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JIS G 3112</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼</td> <td>SD295A</td> <td>D10,13</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>建築基準法の規定に基づき認定を受けた鉄筋</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3551</td> <td>溶接鋼筋及び鉄筋格子</td> <td>網目の形状: 寸法: 150x150 径: 6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 材料試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料試験は行わない。<br/>ただし、規格証明書を提出し、監督員の承認を得ること。</li> </ul> <p>3. 鉄筋の継手及び定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄筋の継手は( <b>重ね継手</b> )、ガス圧接継手 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 )とする。</li> <li>・鉄筋の継手の位置は図示による。</li> <li>・結束線の端部は内側に折り曲げる。</li> <li>・鉄筋の90°未満の折曲げの内法直径は図示による。</li> <li>・鉄筋の定着方法及び長さは図示による。</li> </ul> <p>4. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、構造物5.3.6の数値に10mmを加えた数値を標準とする。</li> <li>・目地がある場合のかぶり厚は、目地底からの寸法とする。</li> <li>・各部の配筋は、図示による。図示されていない場合は、構造物参考図〔1部・基礎及び基礎梁の配筋〕～〔7部・梁貫通孔その他配筋〕による。</li> </ul> <p>5. 配筋検査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要な配筋は、コンクリート打込み前先立ち、種類、径、数量、かぶり、間隔、位置等について、監督職員の検査を受ける。</li> </ul> <p>6. あと施工アンカー工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あと施工アンカー作業における技能者は、あと施工アンカー工事の施工に関する十分な経験と技能を有するものとし、これらを証明する資料を提出し、監督員の承認を受けること。</li> <li>・埋込み配管等に当たった場合は、直ちに穿孔を中止し、監督員に報告し指示を受けること。</li> <li>・鉄筋等に当たった場合は、穿孔を中止し、付近の位置に再穿孔を行うこと。中止した孔は、モルタルで充てんすること。</li> <li>・施工確認試験を( 行っ ・ 行わない )。</li> </ul> | 規格番号 | 規格名称  | 種類の記号 | 径(mm) | JIS G 3112 | 鉄筋コンクリート用棒鋼 | SD295A | D10,13 | - | 建築基準法の規定に基づき認定を受けた鉄筋 | - | - | JIS G 3551 | 溶接鋼筋及び鉄筋格子 | 網目の形状: 寸法: 150x150 径: 6 |  |
| 規格番号  | 規格名称  | 種類の記号                   | 径(mm)  |                       |   |   |             |        |        |      |                      |   |   |            |            |                         |      |               |  |      |       |       |       |            |             |        |        |   |                      |   |   |            |            |                         |  |
| JIS G 3112                                    | 鉄筋コンクリート用棒鋼   | SD295A                  | D10,13   |                       |   |   |             |        |        |      |                      |   |   |            |            |                         |      |               |  |      |       |       |       |            |             |        |        |   |                      |   |   |            |            |                         |  |
| -   | 建築基準法の規定に基づき認定を受けた鉄筋  | -                       | -  |                       |   |   |             |        |        |      |                      |   |   |            |            |                         |      |               |  |      |       |       |       |            |             |        |        |   |                      |   |   |            |            |                         |  |
| JIS G 3551                                    | 溶接鋼筋及び鉄筋格子  | 網目の形状: 寸法: 150x150 径: 6 |  |                       |   |   |             |        |        |      |                      |   |   |            |            |                         |      |               |  |      |       |       |       |            |             |        |        |   |                      |   |   |            |            |                         |  |
| 規格番号  | 規格名称  | 種類の記号                   | 径(mm)  |                       |   |   |             |        |        |      |                      |   |   |            |            |                         |      |               |  |      |       |       |       |            |             |        |        |   |                      |   |   |            |            |                         |  |
| JIS G 3112                                    | 鉄筋コンクリート用棒鋼   | SD295A                  | D10,13   |                       |   |   |             |        |        |      |                      |   |   |            |            |                         |      |               |  |      |       |       |       |            |             |        |        |   |                      |   |   |            |            |                         |  |
| -   | 建築基準法の規定に基づき認定を受けた鉄筋  | -                       | -  |                       |   |   |             |        |        |      |                      |   |   |            |            |                         |      |               |  |      |       |       |       |            |             |        |        |   |                      |   |   |            |            |                         |  |
| JIS G 3551                                    | 溶接鋼筋及び鉄筋格子  | 網目の形状: 寸法: 150x150 径: 6 |  |                       |   |   |             |        |        |      |                      |   |   |            |            |                         |      |               |  |      |       |       |       |            |             |        |        |   |                      |   |   |            |            |                         |  |
| 工事名   | R 2 宮 鑑 阿南光高等学校 阿南・新野<br>外構工事 ( 1 )   | 株 式 会 社<br>橘 建 築 事 務 所  | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>一級建築士登録 第108457号 浜岡孝幸</td> </tr> <tr> <td>〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 (株)橘建築事務所</td> </tr> <tr> <td>一級建築士事務所 登録番号 徳島県知事 登録第81015号 電話(088)625-7878</td> </tr> </table>   | 一級建築士登録 第108457号 浜岡孝幸 | 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 (株)橘建築事務所  | 一級建築士事務所 登録番号 徳島県知事 登録第81015号 電話(088)625-7878 | -           | A - 3  |        |      |                      |   |   |            |            |                         |      |               |  |      |       |       |       |            |             |        |        |   |                      |   |   |            |            |                         |  |
| 一級建築士登録 第108457号 浜岡孝幸                         |   |                         |  |                       |   |   |             |        |        |      |                      |   |   |            |            |                         |      |               |  |      |       |       |       |            |             |        |        |   |                      |   |   |            |            |                         |  |
| 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 (株)橘建築事務所              |   |                         |  |                       |   |   |             |        |        |      |                      |   |   |            |            |                         |      |               |  |      |       |       |       |            |             |        |        |   |                      |   |   |            |            |                         |  |
| 一級建築士事務所 登録番号 徳島県知事 登録第81015号 電話(088)625-7878 |   |                         |  |                       |   |   |             |        |        |      |                      |   |   |            |            |                         |      |               |  |      |       |       |       |            |             |        |        |   |                      |   |   |            |            |                         |  |
|   |   |                         |  | 外構工事特記仕様書 ( 3 )       |   |   |             |        |        |      |                      |   |   |            |            |                         |      |               |  |      |       |       |       |            |             |        |        |   |                      |   |   |            |            |                         |  |

| 章                              | 項目  | 特記事項  |                                      |                                  |                                      |             |                                     |        |                                     |      |    |    |       |             |    |    |     |       |  |             |    |    |  |  |  |             |    |    |  |  |  |             |      |    |  |  |  |
|--------------------------------|---|---|--------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|-------------|-------------------------------------|--------|-------------------------------------|------|----|----|-------|-------------|----|----|-----|-------|--|-------------|----|----|--|--|--|-------------|----|----|--|--|--|-------------|------|----|--|--|--|
| 6章<br>コンクリート工事                 | 1. 一般事項   | <p>・設計基準強度</p> <table border="1"> <tr> <th>コンクリートの種類</th> <th>設計基準強度<br/>Fc(N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>調合管理<br/>強度<br/>Fm(N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>スラブ<br/>(cm)</th> <th>強度試験の有無</th> <th>種別</th> <th>気乾単位<br/>容積重量<br/>(t/m<sup>3</sup>)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>21</td> <td>21+S</td> <td>15</td> <td>無</td> <td></td> <td>2.4</td> <td>外構工作物</td> </tr> </table> <p>・構造体コンクリートの調合管理強度は、設計基準強度(Fc)に構造体強度補正値(S)を加えた値とする。<br/>なお、構造体強度補正値(S)は、標仕 表6.3.2によりセメントの種類及びコンクリートの打込みから材齢28日までの予想平均気温に応じて定める。</p> <p>・コンクリートの強度試験<br/>コンクリートの強度試験については、次のとおり取扱うものとする。<br/>・第4週強度確認<br/>原則、第3者機関にて、主任技術者又は現場代理人立会いの上、行うこと。<br/>ただし、第3者機関以外で行う場合は、立ち会い者を定め、監督員の承認を受け、行うこととする。<br/>なお、試験機関を選定した際には、すみやかに監督員に報告すること。</p>  | コンクリートの種類                            | 設計基準強度<br>Fc(N/mm <sup>2</sup> ) | 調合管理<br>強度<br>Fm(N/mm <sup>2</sup> ) | スラブ<br>(cm) | 強度試験の有無                             | 種別     | 気乾単位<br>容積重量<br>(t/m <sup>3</sup> ) | 適用箇所 | 普通 | 21 | 21+S  | 15          | 無  |    | 2.4 | 外構工作物 |  |             |    |    |  |  |  |             |    |    |  |  |  |             |      |    |  |  |  |
|                                | コンクリートの種類   | 設計基準強度<br>Fc(N/mm <sup>2</sup> )  | 調合管理<br>強度<br>Fm(N/mm <sup>2</sup> ) | スラブ<br>(cm)                      | 強度試験の有無                              | 種別          | 気乾単位<br>容積重量<br>(t/m <sup>3</sup> ) | 適用箇所   |                                     |      |    |    |       |             |    |    |     |       |  |             |    |    |  |  |  |             |    |    |  |  |  |             |      |    |  |  |  |
|                                | 普通  | 21  | 21+S                                 | 15                               | 無                                    |             | 2.4                                 | 外構工作物  |                                     |      |    |    |       |             |    |    |     |       |  |             |    |    |  |  |  |             |    |    |  |  |  |             |      |    |  |  |  |
|                                | 2. コンクリートの仕上がり  | <p>・コンクリート部材の位置及び断面寸法の許容値は、標仕 表6.2.3による。</p> <p>・合板せき板を用いる打放し上げの種別は(A・B・C)種とする。</p> <p>・コンクリートの仕上りの平たんさは標仕 表6.2.5による。</p>   |                                      |                                  |                                      |             |                                     |        |                                     |      |    |    |       |             |    |    |     |       |  |             |    |    |  |  |  |             |    |    |  |  |  |             |      |    |  |  |  |
|                                | 3. 普通コンクリート   | <p>・セメントの種類は、(普通ポルトランドセメント) 混合セメントA種・高炉セメントB種・フライアッシュセメントB種)とする。</p> <p>・骨材は、標仕6.3.1(2)による。</p> <p>・細骨材としてフェロニッケルスラグ使用(できる(できない))。</p> <p>・細骨材に含まれる塩化物量は、NaCl換算で0.04%以下とする。</p> <p>・コンクリート中の塩化物量は、0.3kg/m<sup>3</sup>以下とし、試験方法は標仕6.5.4による。</p> <p>・試験りは(行う(行わない))。</p> <p>・所要空気量は4.5%±1.5%とする。</p> <p>・受注者は、コンクリートの使用にあたってアルカリ骨材反応を抑制するため、次の3つの対策の中のいずれか1つについて確認をとらなければならない。<br/>(1) コンクリート中のアルカリ総量の抑制<br/>アルカリ量が表示されたポルトランドセメント等を使用し、コンクリート1m<sup>3</sup>に含まれるアルカリ総量をNa<sub>2</sub>O換算で3.0kg以下にする。<br/>(2) 抑制効果のある混合セメント等の使用<br/>JIS R 5211高炉セメントに適合する高炉セメント〔B種またはC種〕あるいはJIS R 5213フライアッシュセメントに適合するフライアッシュセメント〔B種またはC種〕もしくは混和材をポルトランドセメントに混入した結晶材でアルカリ骨材反応抑制効果の確認されたものを使用する。<br/>(3) 安全と認められる骨材の使用<br/>骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法またはモルタルバー法)の結果で無害と確認された骨材を使用する。<br/>試験方法は、JIS A 1145骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)またはJIS A 5308(レディミクストコンクリート)の付属書7「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)」、JIS A 1146骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)またはJIS A 5308(レディミクストコンクリート)の付属書8「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」による。</p> <p>・混和材料を使用する場合の種類は標仕6.3.1(4)によることとし、監督員の承認を受けること。</p> |                                      |                                  |                                      |             |                                     |        |                                     |      |    |    |       |             |    |    |     |       |  |             |    |    |  |  |  |             |    |    |  |  |  |             |      |    |  |  |  |
| 4. 打継ぎの位置<br>ひび割れ誘発目地<br>打継ぎ目地 | <p>・打継ぎの位置<br/>梁及びスラブ(・スパンの中央又は端から1/4付近)</p> <p>・コンクリートの打継ぎ目地の寸法は、標仕9.7.3(目地寸法)(1)(ア)による。</p> <p>・ひび割れ誘発目地の位置は監督職員との協議による。</p>  |   |                                      |                                  |                                      |             |                                     |        |                                     |      |    |    |       |             |    |    |     |       |  |             |    |    |  |  |  |             |    |    |  |  |  |             |      |    |  |  |  |
| 5. 型枠                          | <p>・型枠は、(農産木製型枠)・合板・金属製・樹脂系・打込み型枠・ブロック)とする。<br/>原則として、農産木製型枠を使用する。<br/>ただし、特段の理由がある場合はこの限りではない。</p> <table border="1"> <tr> <th>型枠の種類</th> <th>仕上げ種別</th> <th>塗装の有無</th> <th>材質</th> <th>厚さ</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>農産木製型枠</td> <td>-</td> <td>なし</td> <td>杉</td> <td>12</td> <td>外構工作物</td> </tr> <tr> <td>6.8.2(2)(ア)</td> <td>A種</td> <td>あり</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6.8.2(2)(イ)</td> <td>B種</td> <td>なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6.8.2(2)(イ)</td> <td>C種</td> <td>なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6.8.2(2)(イ)</td> <td>普通型枠</td> <td>なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・スリーブの材種( )</p> <p>・打ち直し仕上げの打ち直し厚さは( )mmとし、打ち直しの範囲は図示による。</p> <p>・打ち直し仕上げのコーンは原則、Pコンとする。また脱型後の穴埋めは、樹脂モルタルにより打ち直し面より2mm程度、引込める。</p> | 型枠の種類   | 仕上げ種別                                | 塗装の有無                            | 材質                                   | 厚さ          | 適用箇所                                | 農産木製型枠 | -                                   | なし   | 杉  | 12 | 外構工作物 | 6.8.2(2)(ア) | A種 | あり |     |       |  | 6.8.2(2)(イ) | B種 | なし |  |  |  | 6.8.2(2)(イ) | C種 | なし |  |  |  | 6.8.2(2)(イ) | 普通型枠 | なし |  |  |  |
| 型枠の種類                          | 仕上げ種別   | 塗装の有無   | 材質                                   | 厚さ                               | 適用箇所                                 |             |                                     |        |                                     |      |    |    |       |             |    |    |     |       |  |             |    |    |  |  |  |             |    |    |  |  |  |             |      |    |  |  |  |
| 農産木製型枠                         | -   | なし  | 杉                                    | 12                               | 外構工作物                                |             |                                     |        |                                     |      |    |    |       |             |    |    |     |       |  |             |    |    |  |  |  |             |    |    |  |  |  |             |      |    |  |  |  |
| 6.8.2(2)(ア)                    | A種  | あり  |                                      |                                  |                                      |             |                                     |        |                                     |      |    |    |       |             |    |    |     |       |  |             |    |    |  |  |  |             |    |    |  |  |  |             |      |    |  |  |  |
| 6.8.2(2)(イ)                    | B種  | なし  |                                      |                                  |                                      |             |                                     |        |                                     |      |    |    |       |             |    |    |     |       |  |             |    |    |  |  |  |             |    |    |  |  |  |             |      |    |  |  |  |
| 6.8.2(2)(イ)                    | C種  | なし  |                                      |                                  |                                      |             |                                     |        |                                     |      |    |    |       |             |    |    |     |       |  |             |    |    |  |  |  |             |    |    |  |  |  |             |      |    |  |  |  |
| 6.8.2(2)(イ)                    | 普通型枠  | なし  |                                      |                                  |                                      |             |                                     |        |                                     |      |    |    |       |             |    |    |     |       |  |             |    |    |  |  |  |             |    |    |  |  |  |             |      |    |  |  |  |

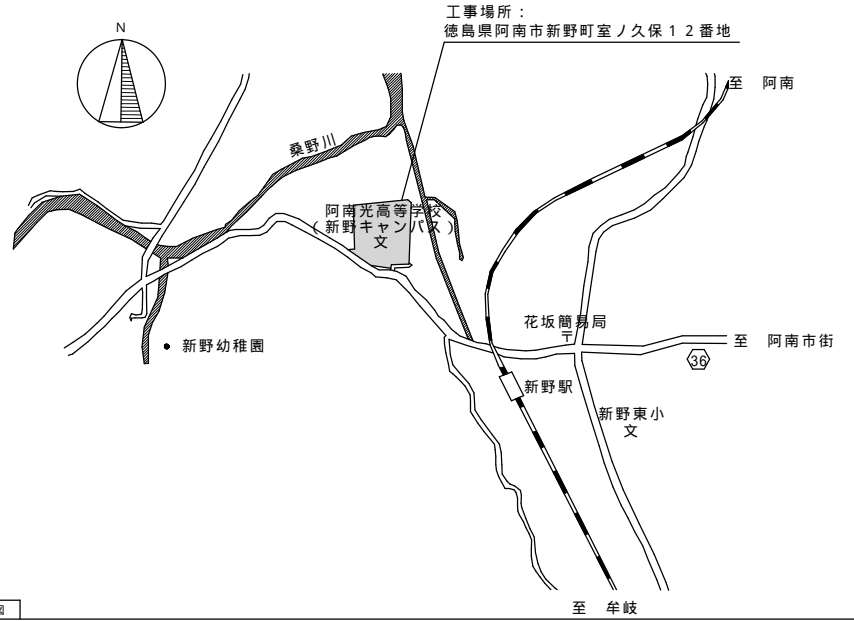
| 章                    | 項目  | 特記事項   |                    |          |      |       |          |      |                    |     |     |    |  |  |  |
|----------------------|---|--|--------------------|----------|------|-------|----------|------|--------------------|-----|-----|----|--|--|--|
| 7章<br>コンクリート及びその他の工事 | 6. 無筋コンクリート   | <p>・無筋コンクリートは、次の場合に適用する。<br/>・接コンクリート<br/>・補強筋を必要としないコンクリート</p> <p>・設計基準強度( 18 )N/mm<sup>2</sup> ,スラブ( 15 )cm</p> <p>・適用箇所: 図示</p>   |                    |          |      |       |          |      |                    |     |     |    |  |  |  |
|                      | 1. 渡り廊下   | <p>・材料の種類: アルミ押出材(不燃材)</p> <p>・建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法、施工図等を施工計画書として提出する。</p> <p>・標準仕様書以外の工法は、専門業者の仕様による。</p> <p>・建築基準法に基づき定められた区分等<br/>基準風速<br/>10=( 36 )m/s<br/>地表面粗度区分 ( I・II・(III)・IV )</p>   |                    |          |      |       |          |      |                    |     |     |    |  |  |  |
| 8章<br>排水工事           | 1. 排水管  | <p>・排水管材料</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>管の種類</th> <th>呼び径</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>環状強化ビニル管</td> <td>VP</td> <td>100, 150, 200, 250</td> <td></td> </tr> </table>   | 材種                 | 管の種類     | 呼び径  | 備考    | 環状強化ビニル管 | VP   | 100, 150, 200, 250 |     |     |    |  |  |  |
|                      | 材種  | 管の種類   | 呼び径                | 備考       |      |       |          |      |                    |     |     |    |  |  |  |
|                      | 環状強化ビニル管  | VP   | 100, 150, 200, 250 |          |      |       |          |      |                    |     |     |    |  |  |  |
|                      | 2. 側溝、排水溝等  | <p>・側溝の形状: 図示</p> <p>・排水マスの種類: 図示</p> <p>・グレーチング</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>規格・仕様</th> <th>垂れめつき付着量</th> <th>上面形状</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>FRP</td> <td>排水蓋</td> <td>図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・製造所: 評価名簿による</p> <p>・砂の粒度試験は、( 行う (行わない) )</p> | 材質                 | 用途       | 適用荷重 | 規格・仕様 | 垂れめつき付着量 | 上面形状 | 備考                 | FRP | 排水蓋 | 図示 |  |  |  |
| 材質                   | 用途  | 適用荷重   | 規格・仕様              | 垂れめつき付着量 | 上面形状 | 備考    |          |      |                    |     |     |    |  |  |  |
| FRP                  | 排水蓋   | 図示   |                    |          |      |       |          |      |                    |     |     |    |  |  |  |
| 3. 街きょ、縁石、側溝         | <p>・地業材料: 再生クラッシャーラン 厚さ: 図示</p> <p>・砂利地業の厚さは、( )mmとする。</p> <p>・コンクリート設計基準強度等: 21 N/mm<sup>2</sup>, スラブ= 15 cm</p> <p>・街きょ、縁石及び側溝</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>形状</th> <th>寸法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>縁石</td> <td>図示</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>側溝</td> <td>図示</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> </table> | 名称   | 形状                 | 寸法       | 備考   | 縁石    | 図示       | 図示   |                    | 側溝  | 図示  | 図示 |  |  |  |
| 名称                   | 形状  | 寸法   | 備考                 |          |      |       |          |      |                    |     |     |    |  |  |  |
| 縁石                   | 図示  | 図示   |                    |          |      |       |          |      |                    |     |     |    |  |  |  |
| 側溝                   | 図示  | 図示   |                    |          |      |       |          |      |                    |     |     |    |  |  |  |
| 4. その他               | <p>・地業材料の種類: 再生クラッシャーラン 厚さ: 図示</p> <p>・コンクリート: 設計基準強度( 21 N/mm<sup>2</sup> ), スラブ( 15 )</p> <p>・埋め戻し材料: ( A・B・C・D )種とする。</p> <p>・排水工事の仕様は、図示以外は、建築工事標準詳細図による。</p>   |  |                    |          |      |       |          |      |                    |     |     |    |  |  |  |

| 章            | 項目  | 特記事項   |           |           |           |       |     |     |       |       |       |       |         |         |
|--------------|---|--|-----------|-----------|-----------|-------|-----|-----|-------|-------|-------|-------|---------|---------|
| 9章<br>舗装工事   | 1. コンクリート舗装   | <p>・設計基準強度( 21 N/mm<sup>2</sup> ), スラブ( 15 ) , 相骨材の最大寸法( 20 )</p> <p>・表面の仕上げ( 剛毛引き )</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>舗装の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>スラブ舗装</td> <td>図示</td> <td>100</td> </tr> </table> <p>・目地材は注入の場合( 低弾性タイプ・高弾性タイプ )による。</p> <p>・目地</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>目地の種類</th> <th>目地の間隔</th> </tr> <tr> <td>スラブ舗装</td> <td>かか目地切</td> <td>2m~3m程度</td> </tr> </table> <p>・溶接金網は使用( する )しない)。</p> <p>・コンクリート版の厚さは、型枠据付後、水糸又はレベルにより測定する。</p> <p>・舗装の平坦性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする。</p> <p>・表面の厚さは、設計厚さを下回らないこととする。</p> | 舗装の種類     | 部位        | 舗装の厚さ(mm) | スラブ舗装 | 図示  | 100 | 部位    | 目地の種類 | 目地の間隔 | スラブ舗装 | かか目地切   | 2m~3m程度 |
|              | 舗装の種類   | 部位   | 舗装の厚さ(mm) |           |           |       |     |     |       |       |       |       |         |         |
|              | スラブ舗装   | 図示   | 100       |           |           |       |     |     |       |       |       |       |         |         |
|              | 部位  | 目地の種類  | 目地の間隔     |           |           |       |     |     |       |       |       |       |         |         |
|              | スラブ舗装   | かか目地切  | 2m~3m程度   |           |           |       |     |     |       |       |       |       |         |         |
| 2. 歩道        | <p>・設計基準強度( 21 N/mm<sup>2</sup> ), スラブ( 15 )</p> <p>・表面の仕上げ( 剛毛引き )</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>舗装の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>スラブ舗装</td> <td>図示</td> <td>100</td> </tr> </table> <p>・目地材は注入の場合( 低弾性タイプ・高弾性タイプ )による。</p> <p>・目地</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>目地の種類</th> <th>目地の間隔</th> </tr> <tr> <td>スラブ舗装</td> <td>かか目地切</td> <td>2m~3m程度</td> </tr> </table> <p>・溶接金網は使用( する )しない)。</p> <p>・コンクリート版の厚さは、型枠据付後、水糸又はレベルにより測定する。</p> <p>・舗装の平坦性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする。</p> <p>・表面の厚さは、設計厚さを下回らないこととする。</p> | 舗装の種類  | 部位        | 舗装の厚さ(mm) | スラブ舗装     | 図示    | 100 | 部位  | 目地の種類 | 目地の間隔 | スラブ舗装 | かか目地切 | 2m~3m程度 |         |
| 舗装の種類        | 部位  | 舗装の厚さ(mm)  |           |           |           |       |     |     |       |       |       |       |         |         |
| スラブ舗装        | 図示  | 100  |           |           |           |       |     |     |       |       |       |       |         |         |
| 部位           | 目地の種類   | 目地の間隔  |           |           |           |       |     |     |       |       |       |       |         |         |
| スラブ舗装        | かか目地切   | 2m~3m程度  |           |           |           |       |     |     |       |       |       |       |         |         |
| 3. 自転車歩行者用舗装 | <p>・設計基準強度( 21 N/mm<sup>2</sup> ), スラブ( 15 )</p> <p>・表面の仕上げ( 剛毛引き )</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>舗装の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>スラブ舗装</td> <td>図示</td> <td>100</td> </tr> </table> <p>・目地材は注入の場合( 低弾性タイプ・高弾性タイプ )による。</p> <p>・目地</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>目地の種類</th> <th>目地の間隔</th> </tr> <tr> <td>スラブ舗装</td> <td>かか目地切</td> <td>2m~3m程度</td> </tr> </table> <p>・溶接金網は使用( する )しない)。</p> <p>・コンクリート版の厚さは、型枠据付後、水糸又はレベルにより測定する。</p> <p>・舗装の平坦性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする。</p> <p>・表面の厚さは、設計厚さを下回らないこととする。</p> | 舗装の種類  | 部位        | 舗装の厚さ(mm) | スラブ舗装     | 図示    | 100 | 部位  | 目地の種類 | 目地の間隔 | スラブ舗装 | かか目地切 | 2m~3m程度 |         |
| 舗装の種類        | 部位  | 舗装の厚さ(mm)  |           |           |           |       |     |     |       |       |       |       |         |         |
| スラブ舗装        | 図示  | 100  |           |           |           |       |     |     |       |       |       |       |         |         |
| 部位           | 目地の種類   | 目地の間隔  |           |           |           |       |     |     |       |       |       |       |         |         |
| スラブ舗装        | かか目地切   | 2m~3m程度  |           |           |           |       |     |     |       |       |       |       |         |         |
| 4. 自転車歩行者用舗装 | <p>・設計基準強度( 21 N/mm<sup>2</sup> ), スラブ( 15 )</p> <p>・表面の仕上げ( 剛毛引き )</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>舗装の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>スラブ舗装</td> <td>図示</td> <td>100</td> </tr> </table> <p>・目地材は注入の場合( 低弾性タイプ・高弾性タイプ )による。</p> <p>・目地</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>目地の種類</th> <th>目地の間隔</th> </tr> <tr> <td>スラブ舗装</td> <td>かか目地切</td> <td>2m~3m程度</td> </tr> </table> <p>・溶接金網は使用( する )しない)。</p> <p>・コンクリート版の厚さは、型枠据付後、水糸又はレベルにより測定する。</p> <p>・舗装の平坦性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする。</p> <p>・表面の厚さは、設計厚さを下回らないこととする。</p> | 舗装の種類  | 部位        | 舗装の厚さ(mm) | スラブ舗装     | 図示    | 100 | 部位  | 目地の種類 | 目地の間隔 | スラブ舗装 | かか目地切 | 2m~3m程度 |         |
| 舗装の種類        | 部位  | 舗装の厚さ(mm)  |           |           |           |       |     |     |       |       |       |       |         |         |
| スラブ舗装        | 図示  | 100  |           |           |           |       |     |     |       |       |       |       |         |         |
| 部位           | 目地の種類   | 目地の間隔  |           |           |           |       |     |     |       |       |       |       |         |         |
| スラブ舗装        | かか目地切   | 2m~3m程度  |           |           |           |       |     |     |       |       |       |       |         |         |
| 5. 自転車歩行者用舗装 | <p>・設計基準強度( 21 N/mm<sup>2</sup> ), スラブ( 15 )</p> <p>・表面の仕上げ( 剛毛引き )</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>舗装の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>スラブ舗装</td> <td>図示</td> <td>100</td> </tr> </table> <p>・目地材は注入の場合( 低弾性タイプ・高弾性タイプ )による。</p> <p>・目地</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>目地の種類</th> <th>目地の間隔</th> </tr> <tr> <td>スラブ舗装</td> <td>かか目地切</td> <td>2m~3m程度</td> </tr> </table> <p>・溶接金網は使用( する )しない)。</p> <p>・コンクリート版の厚さは、型枠据付後、水糸又はレベルにより測定する。</p> <p>・舗装の平坦性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする。</p> <p>・表面の厚さは、設計厚さを下回らないこととする。</p> | 舗装の種類  | 部位        | 舗装の厚さ(mm) | スラブ舗装     | 図示    | 100 | 部位  | 目地の種類 | 目地の間隔 | スラブ舗装 | かか目地切 | 2m~3m程度 |         |
| 舗装の種類        | 部位  | 舗装の厚さ(mm)  |           |           |           |       |     |     |       |       |       |       |         |         |
| スラブ舗装        | 図示  | 100  |           |           |           |       |     |     |       |       |       |       |         |         |
| 部位           | 目地の種類   | 目地の間隔  |           |           |           |       |     |     |       |       |       |       |         |         |
| スラブ舗装        | かか目地切   | 2m~3m程度  |           |           |           |       |     |     |       |       |       |       |         |         |



外構全体平面図 S=1/1,000

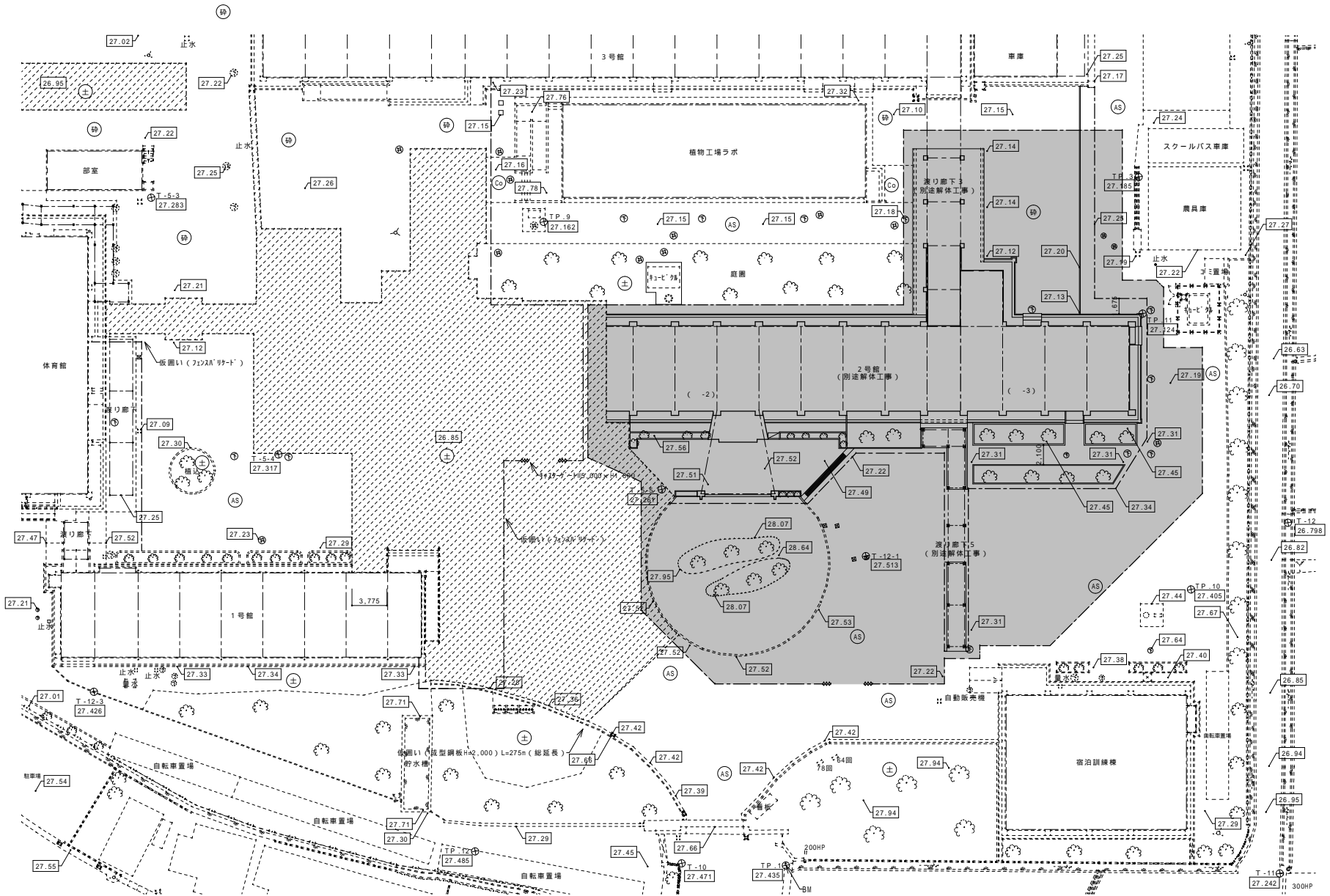
▨ : 本工事範囲を示す  
▨ : 別途工事範囲を示す



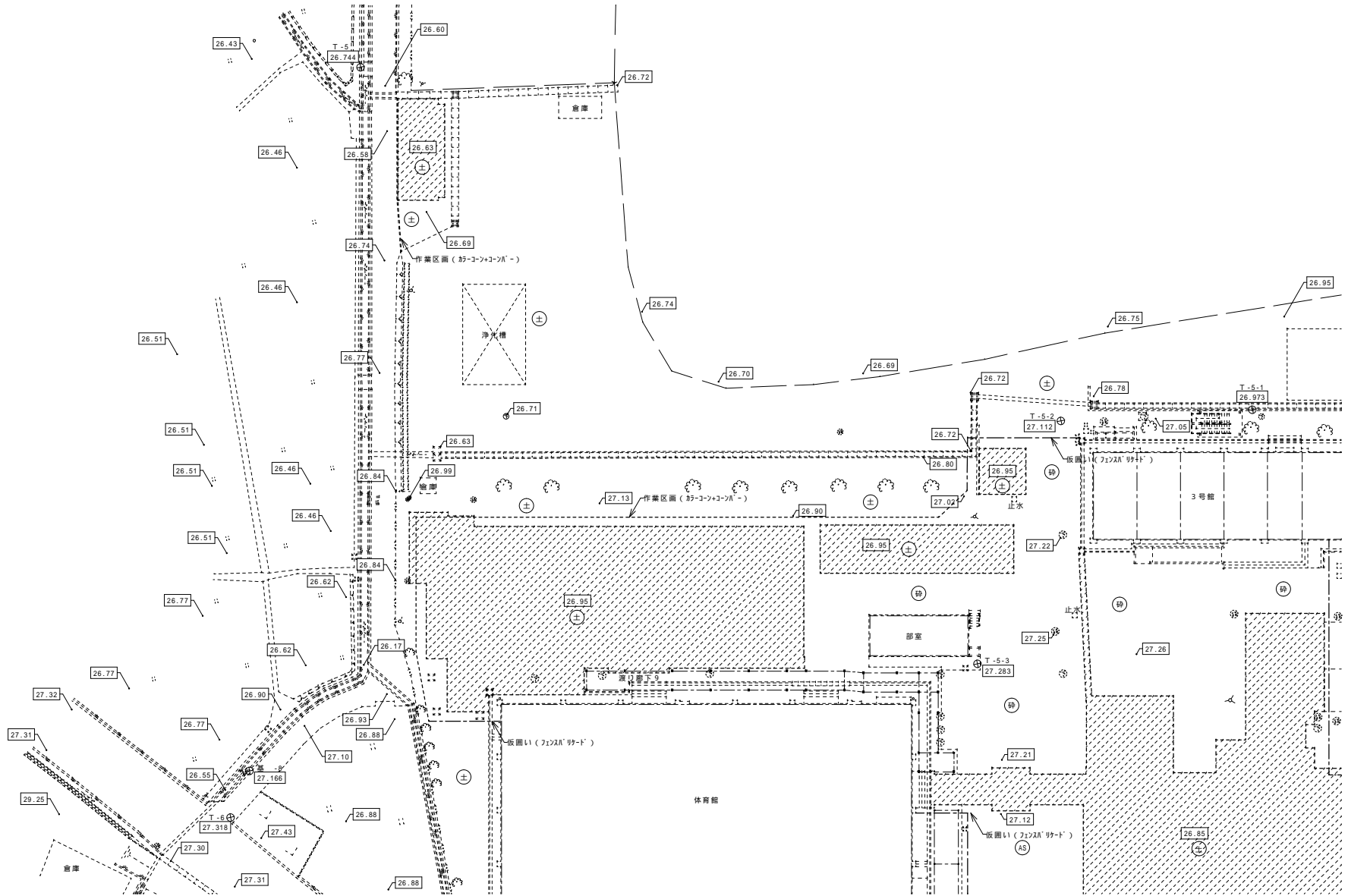
付近見取図

支障物件について  
・受注者は、工事の施工箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物について工事（仮囲い等仮設材設置を含む）着手までに調査を行い、「支障物件確認書」を監督員に提出し、監督員の確認を受けてから工事着手すること。  
・地下埋設物への影響が予想される場所では、施工に先立ち、原則として試掘を行い、当該埋設物の種類、位置（平面・深さ）、規格、構造等を確認しなければならない。  
・受注者は、工事箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物に対し、支障を及ぼさないような措置を講ずなければならない。万一、損傷を与えた場合は、ただちに監督員に報告するとともに、施設の運営に支障がないよう受注者の負担でその都度補修又は補償すること。

|     |                                 |               |   |         |       |
|-----|---------------------------------|---------------|---|---------|-------|
| 工事名 | R 2 営繕 阿南光高等学校 阿南・新野<br>外構工事（1） | 株式会社 橋 建築 事務所 | 一級建築士登録 第108457号 浜岡幸幸                         | 1/1,000 | A - 5 |
|     |                                 |               | 〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 (株)橋建築事務所              |         |       |
|     |                                 |               | 一級建築士事務所 登録番号 徳島県知事 登録第61015号 電話(088)625-7878 |         |       |
|     |                                 |               | 外構全体平面図, 付近見取図                                |         |       |

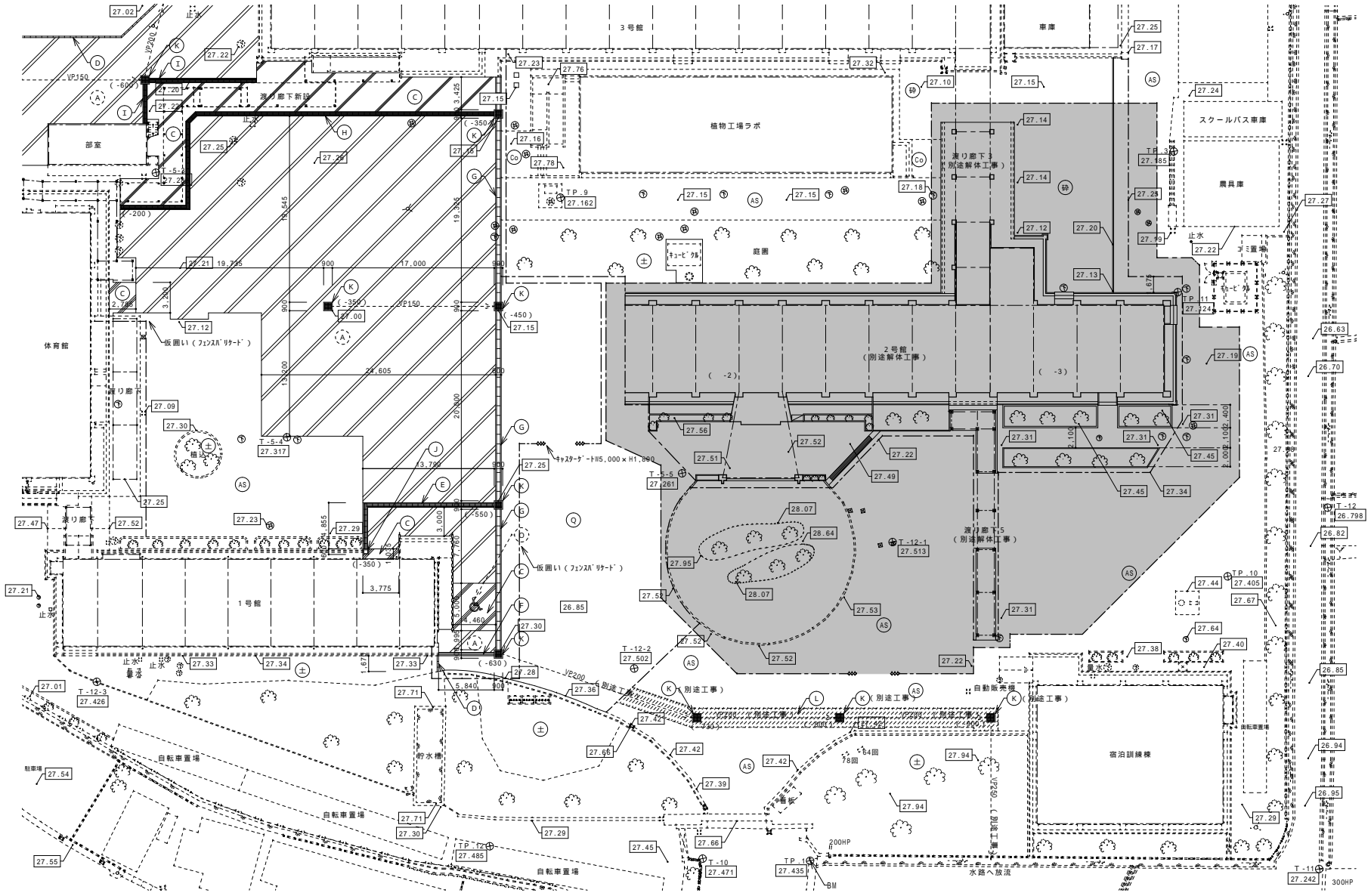


| 既存舗装仕上り |                  |      |           |    |    |
|---------|------------------|------|-----------|----|----|
| 記号      | 仕様               | 記号   | 仕様        | 記号 | 仕様 |
| AS      | 既存アスファルト舗装 t=50  | (斜線) | 解体跡地を示す   |    |    |
| Co      | 既存コンクリート舗装 t=100 | (点線) | 別途解体工事を示す |    |    |
| 石       | 既存砕石敷            | (点線) | レベルを示す    |    |    |
| 土       | 整地のまま            |      |           |    |    |

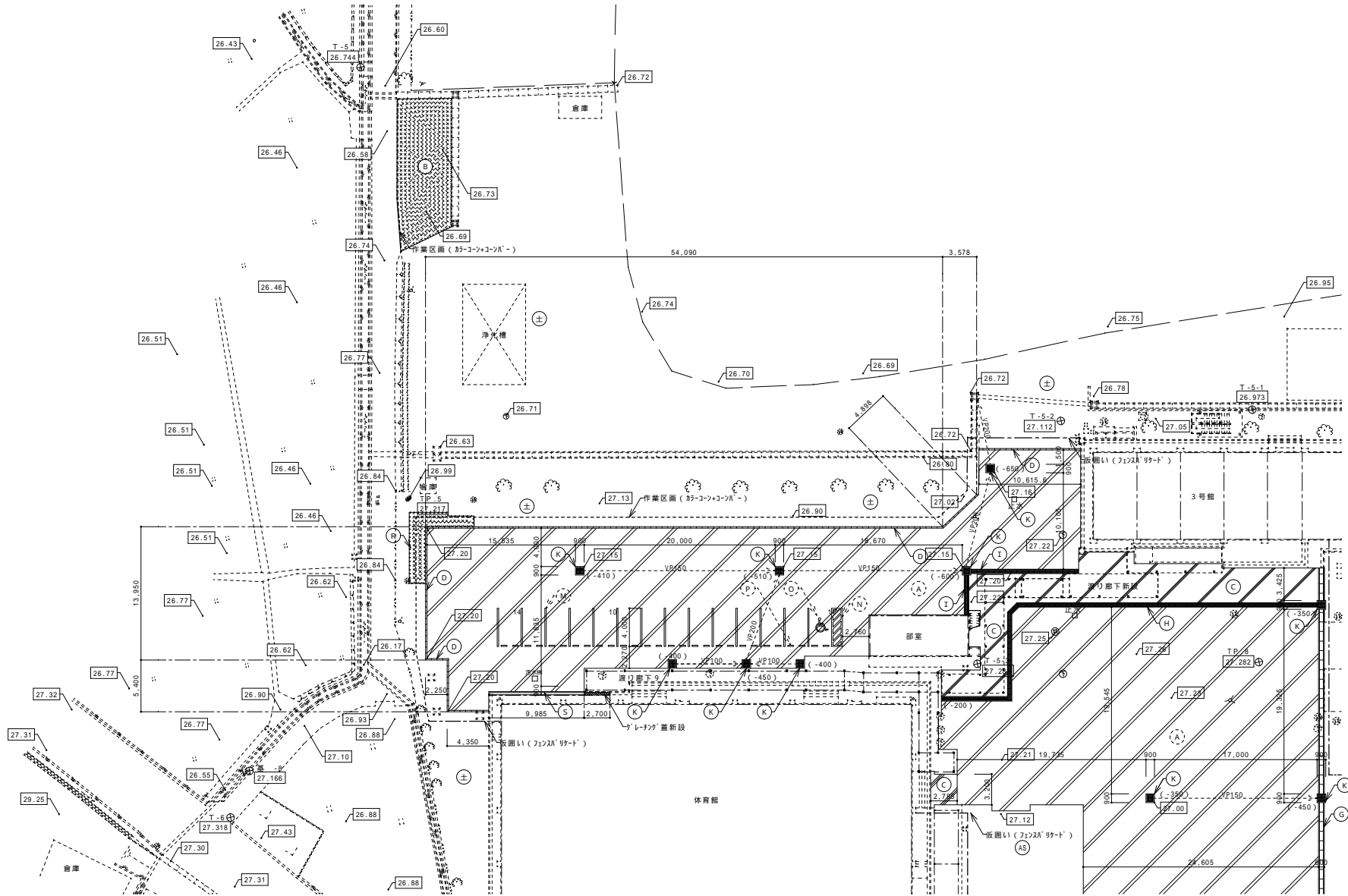


| 既存舗装仕上り |                  |      |           |    |    |
|---------|------------------|------|-----------|----|----|
| 記号      | 仕様               | 記号   | 仕様        | 記号 | 仕様 |
| AS      | 既存アスファルト舗装 t=50  | (斜線) | 解体跡地を示す   |    |    |
| Co      | 既存コンクリート舗装 t=100 | (点線) | 別途解体工事を示す |    |    |
| (砕)     | 既存砕石敷            | (点線) | レベルを示す    |    |    |
| (土)     | 整地のまま            |      |           |    |    |

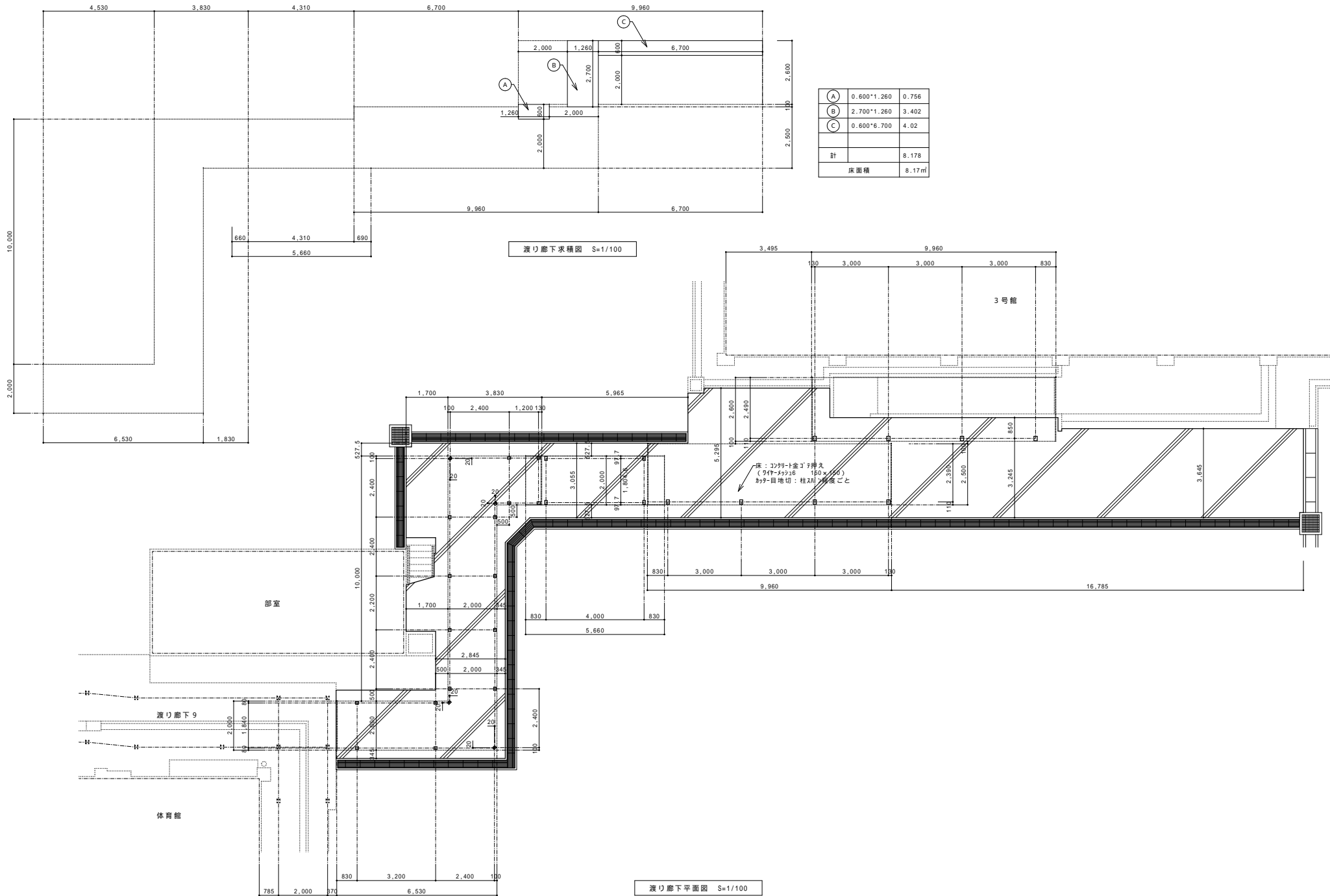




| 既存舗装仕上り |                  | 凡例  |                       | 記号 |        | 仕様 |                                   | 記号  |                         | 仕様  |        | 記号  |                      | 仕様  |          |
|---------|------------------|-----|-----------------------|----|--------|----|-----------------------------------|-----|-------------------------|-----|--------|-----|----------------------|-----|----------|
| AS      | 既存アクリル舗装 t=50    | (A) | F777針舗装 t=50 (別途舗装工事) | E  | 雨水側溝 A | I  | 雨水側溝 E                            | (M) | 白線引き W=150 (別途舗装工事)     | (Q) | 解体跡のまま | (N) | 白線引き (E'アラ) (別途舗装工事) | (R) | 埋戻し整地    |
| Co      | 既存コンクリート舗装 t=100 | (B) | 砕石敷 t=100             | F  | 雨水側溝 B | J  | 雨水側溝 A (.....は管底い' & 水路底い' & を示す) | (O) | 白線引き (車椅子マ-ク) (別途舗装工事)  | (S) | 雨水側溝 F | (P) | 車止め (別途舗装工事)         | (T) | い' & を示す |
| (H)     | 既存砕石敷            | (C) | コンクリート舗装 t=100        | G  | 雨水側溝 C | K  | 雨水側溝 B (.....は管底い' & 水路底い' & を示す) | (L) | 既存F777針舗装 t=50撤去 (別途工事) |     |        |     |                      |     |          |
| (土)     | 整地のまま            | (D) | 緑石                    | H  | 雨水側溝 D |    |                                   |     |                         |     |        |     |                      |     |          |



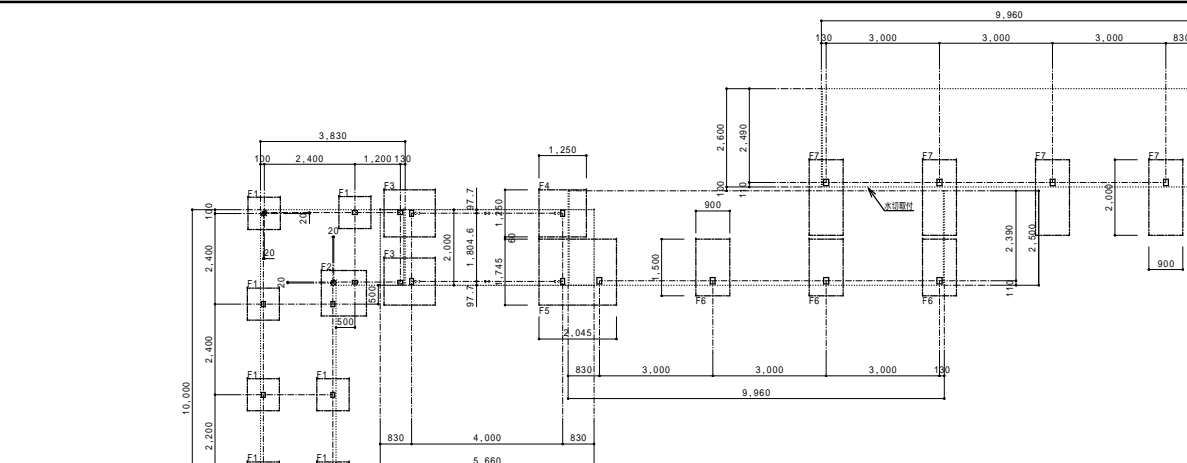
| 既存舗装仕上R2 |                 | 凡例  |                      |    |        |    |                        |        |                        |
|----------|-----------------|-----|----------------------|----|--------|----|------------------------|--------|------------------------|
| 記号       | 仕様              | 記号  | 仕様                   | 記号 | 仕様     | 記号 | 仕様                     | 記号     | 仕様                     |
| AS       | 既存アクリル舗装t=50    | (A) | 7277針舗装t=50 (別途舗装工事) | E  | 雨水側溝 A | I  | 雨水側溝 E                 | (M)    | 白線引きW=150 (別途舗装工事)     |
| Co       | 既存コンクリート舗装t=100 | B   | 砕石敷t=100             | F  | 雨水側溝 B | J  | 雨水樹 A                  | (N)    | 白線引き (E'ア') (別途舗装工事)   |
| 砕        | 既存砕石敷           | C   | コンクリート舗装t=100        | G  | 雨水側溝 C | K  | 雨水樹 B                  | (O)    | 白線引き (車椅子マ-ク) (別途舗装工事) |
| ±        | 整地のまま           | D   | 緑石新設                 | H  | 雨水側溝 D | L  | 既存7277針舗装t=50撤去 (別途工事) | (P)    | 車止め (別途舗装工事)           |
|          |                 |     |                      |    |        |    |                        | (S)    | 雨水側溝 F                 |
|          |                 |     |                      |    |        |    |                        | (AS)   | 埋戻し整地                  |
|          |                 |     |                      |    |        |    |                        | (Q)    | 解体跡のまま                 |
|          |                 |     |                      |    |        |    |                        | (R)    | 埋戻し整地                  |
|          |                 |     |                      |    |        |    |                        | (S)    | 雨水側溝 F                 |
|          |                 |     |                      |    |        |    |                        | (****) | レバ&を示す                 |



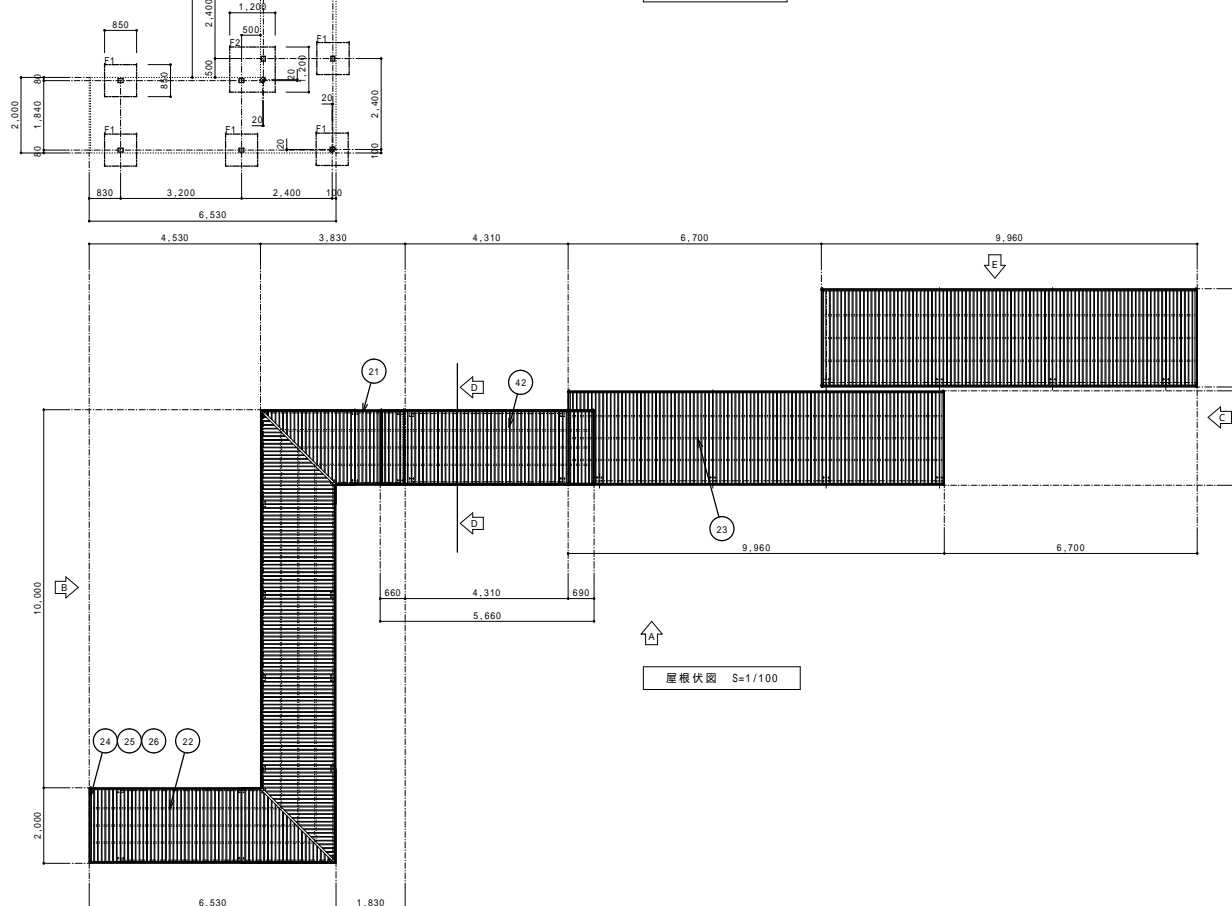
|     |             |       |
|-----|-------------|-------|
| (A) | 0.600*1.260 | 0.756 |
| (B) | 2.700*1.260 | 3.402 |
| (C) | 0.600*6.700 | 4.02  |
| 計   |             | 8.178 |
| 床面積 |             | 8.17㎡ |

渡り廊下求積図 S=1/100

渡り廊下平面図 S=1/100

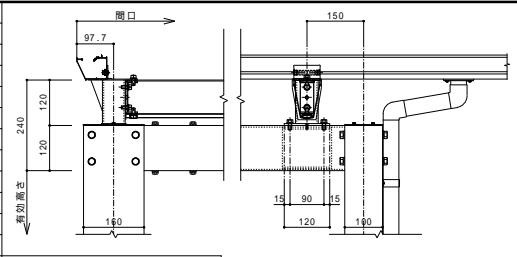


柱伏図 S=1/100

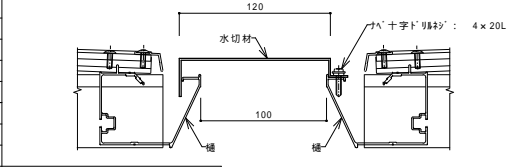


屋根伏図 S=1/100

| 主要部材               | 仕様(材質・塗装)              |
|--------------------|------------------------|
| ⑥3 TUユニット金具        | ニクロムメッキ・粉体塗装SC         |
| ⑥2 TU補強梁           | アルミ押出形材<br>陽極酸化・塗装重合後膜 |
| ⑥1 TU支柱            | アルミ押出形材<br>陽極酸化・塗装重合後膜 |
| ④2 アルミ屋根材          | アルミ押出形材<br>陽極酸化・塗装重合後膜 |
| ②6 端部屋根押入          | アルミ押出形材<br>陽極酸化・塗装重合後膜 |
| ②5 端部小梁            | アルミ押出形材<br>陽極酸化・塗装重合後膜 |
| ②4 正味水切            | アルミ押出形材<br>陽極酸化・塗装重合後膜 |
| ②3 母屋(11-14・21-26) | アルミ押出形材<br>陽極酸化・塗装重合後膜 |
| ②2 母屋(15-20)       | アルミ押出形材<br>陽極酸化・塗装重合後膜 |
| ②1 樋               | アルミ押出形材<br>陽極酸化・塗装重合後膜 |
| ①8 H縦構             | アルミ押出形材<br>陽極酸化・塗装重合後膜 |
| ①6 H梁(20)          | アルミ押出形材<br>陽極酸化・塗装重合後膜 |
| ①5 H高次柱S           | アルミ押出形材<br>陽極酸化・塗装重合後膜 |
| ①4 L縦構             | アルミ押出形材<br>陽極酸化・塗装重合後膜 |
| ①3 L横構             | アルミ押出形材<br>陽極酸化・塗装重合後膜 |
| ①2 L梁(22-26)       | アルミ押出形材<br>陽極酸化・塗装重合後膜 |
| ①1 L延高次柱W(20)      | アルミ押出形材<br>陽極酸化・塗装重合後膜 |

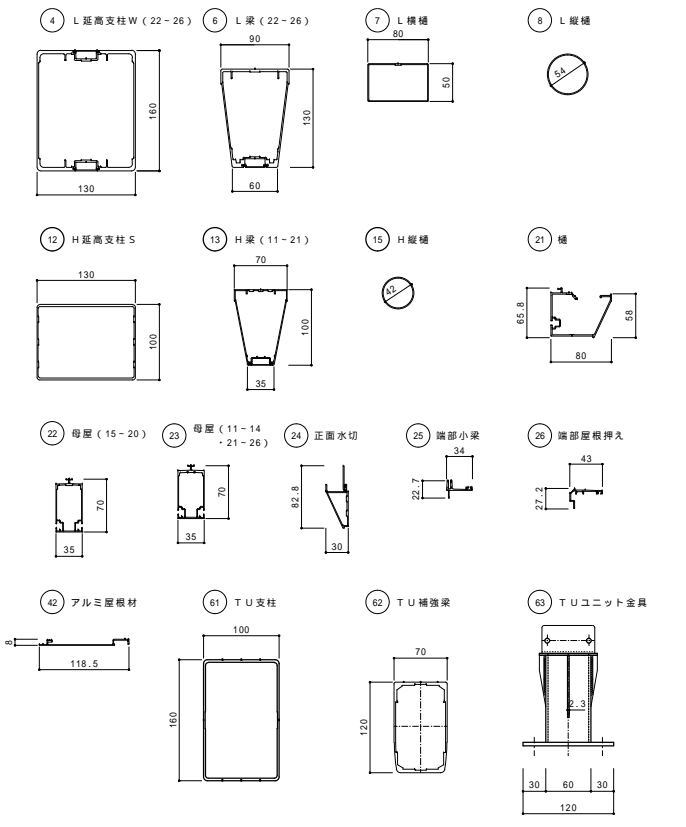


通路用エント架台詳細 S=1/10

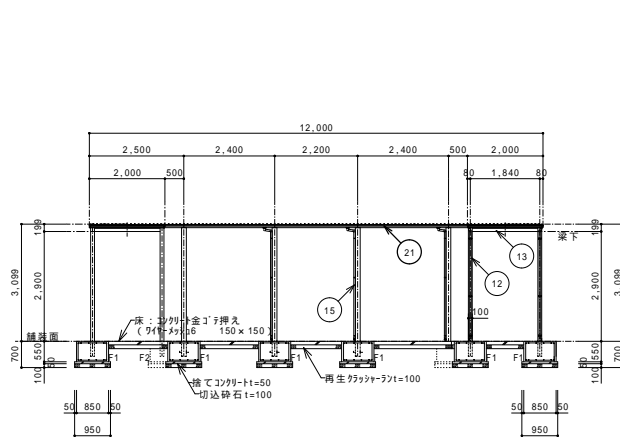


水切詳細 S=1/3

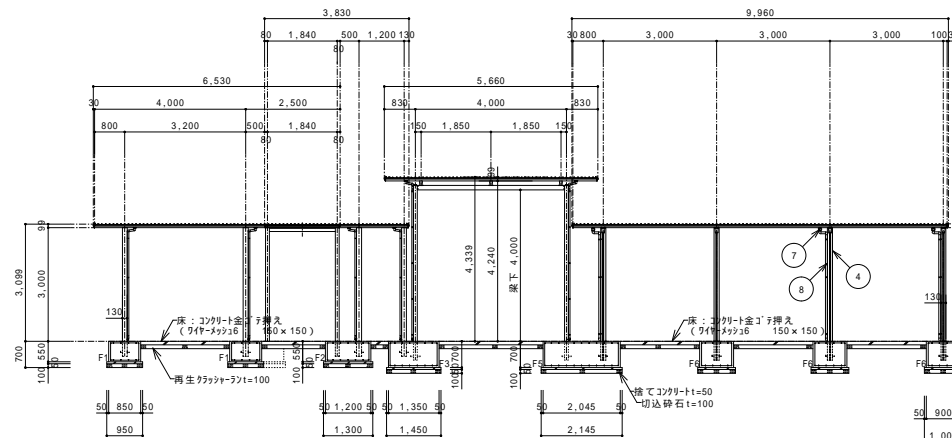
水切材は現場対応にて取付・コナヤク処理のこと



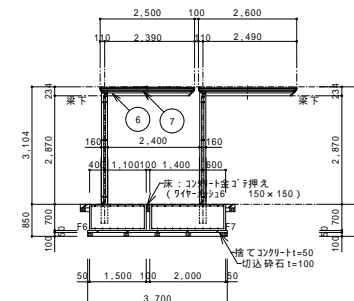
主要部材断面 S=1/5



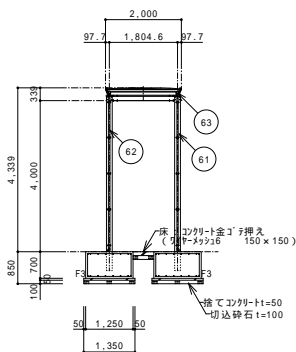
B側 立面図 S=1/100



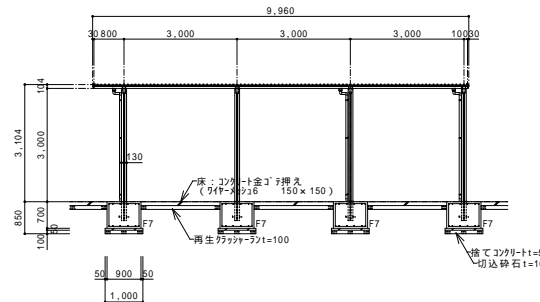
A側 立面図 S=1/100



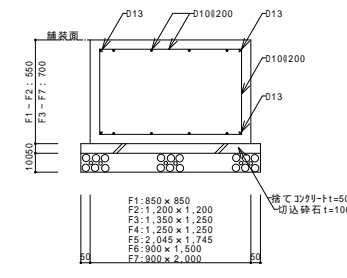
C側 立面図 S=1/100



D側 立面図 S=1/100



E側 立面図 S=1/100



基礎配筋図 (共通) S=1/20

|  |  |  |                              |  |
|--|--|--|------------------------------|--|
| <p><b>A</b> アスファルト舗装 t=50 (別途舗装工事)</p> | <p><b>C</b> コクリート舗装 t=100</p>          | <p><b>E</b> 雨水側溝 A</p>                 | <p><b>F</b> 雨水側溝 B</p>       | <p><b>G</b> 雨水側溝 C</p>   |
| <p><b>B</b> 砕石敷 t=100</p>              | <p><b>D</b> 緑石</p>                     | <p><b>J</b> 雨水樹 A</p>                  | <p><b>K</b> 雨水樹 B</p>        | <p>雨水配管設置要領図</p> <p>周囲地盤高さ</p> <p>管外径</p> <p>管径</p> <p>山砂の積で入念に埋戻す</p> <p>再生クラッシャーラン</p> <p>d : 管外径 (mm)<br/>y : 余幅 (mm)<br/>(最切深さ 1m 未満の時 : 200)<br/>(最切深さ 1m 以上、2m 未満の時 : 400)</p> <p>転圧は 300mm 毎に突き固めのこと。</p> |
| <p><b>H</b> 雨水側溝 D</p>                 | <p><b>I</b> 雨水側溝 E</p>                 | <p><b>O</b> 白線引き (車いすマーク) (別途舗装工事)</p> | <p><b>P</b> 車止め (別途舗装工事)</p> | <p><b>S</b> 雨水側溝 F</p>   |
| <p><b>M</b> 白線引き (別途舗装工事)</p>          | <p><b>N</b> 白線引き (ゼブラマーク) (別途舗装工事)</p> | <p><b>Q</b> 白線引き (車いすマーク) (別途舗装工事)</p> | <p><b>R</b> 車止め (別途舗装工事)</p> | <p><b>S</b> 雨水側溝 F</p>   |

|  |                      |   |   |
|--|----------------------|---|---|
| <p>工事名 R 2 管継 阿南光高等学校 阿南・新野 外構工事 (1)</p> | <p>株式会社 橘 建築 事務所</p> | <p>一級建築士登録 第108457号 浜岡幸幸<br/>〒770-0868 徳島市福島2丁目5番9号 (株)橘建築事務所<br/>一級建築士事務所 登録番号 徳島県知事 登録第81015号 電話(088)625-7878</p> | <p>外構詳細図</p> <p>1/20<br/>1/50<br/>1/100</p> <p>A - 13</p> |
|--|----------------------|---|---|